

KAiGO[®] PRiDE

令和6年度 介護のしごと魅力発信等事業
情報発信事業(介護職発信事業) 報告書

一般社団法人KAiGO PRiDE

KAiGO[®]
PRiDE

私たちは
魅力を発信できる
介護職です



KAiGO[®] PRiDE

令和6年度 介護のしごと魅力発信等事業
情報発信事業(介護職発信事業) 報告書

一般社団法人KAiGO PRiDE



CONTENTS

目次

00	はじめに:プロジェクト趣旨(全体像)	p.3	03	事業連携の取り組み	p.66
	事業概要	p.4		事業間連携会議	p.68
	戦略とアウトカム	p.7		情報発信連携	p.86
	実施スケジュール	p.11	04	事業効果の分析等	p.93
01	実施体制・企画委員会の設置	p.12		取り組み① アンバサダー育成	p.94
	全体像	p.13		取り組み② アンバサダーによる連携発信事業	p.97
	事業主体企業プロフィール	p.14		取り組み③ アンバサダートークシリーズ	p.103
	構成委員会プロフィール	p.15		取り組み④ プロフェッショナルトークシリーズ	p.110
02	Webを活用した広報の実施	p.18		総評	p.117
	取り組み① アンバサダーの育成	p.20			
	取り組み② アンバサダーによる連携発信	p.31			
	取り組み③ アンバサダートークシリーズ	p.48			
	取り組み④ プロフェッショナルトークシリーズ	p.60			

00

はじめに
:プロジェクト趣旨(全体像)

事業目的	福祉・介護の仕事について新たに関心を持たせると共に、仕事の魅力を感じてもらえるよう、Web広告等を活用し、介護の日や福祉人材確保重点実施期間等の機会を捉えつつ、年間を通して広く国民に向けて広報を行う
実施内容	取り組み①: 発信できる介護職(アンバサダー)の育成 取り組み②: アンバサダーによる連携発信活動 取り組み③: Webコンテンツ「アンバサダートークシリーズ」 取り組み④: Webコンテンツ「プロフェッショナルトークシリーズ」
留意事項	- Webを活用した広報活動を通じて、介護のしごとの魅力を発信すること - 事業実施にあたり、ターゲティングを行い各ターゲット層に合わせた検索広告、SNS広告、ディスプレイ広告等を作成・配信すること - 広告の作成に当たっては、短編動画、アニメーション、ポスター、インタラクティブ広告などにより多くの国民の関心を引くような創意工夫を凝らすとともに、介護のしごとの魅力が伝わるものとする - 全国へ向けた情報発信事業や介護職発信事業の実施主体が実施するイベント等の告知について Web広告等において連携・協力すること - 幅広く周知を行うためには、各実施主体のネットワークを相互に利用できるようにすることが効果的であるため、情報発信事業を実施する他の各実施主体間、及び事業間連携等事業との間で相互に連携を図りながら事業を実施すること。特に、介護職発信事業の実施事業者との連携については留意の上、事業を実施すること - 都道府県事業の取り組み等の周知、コンテンツの活用、コラボレーションなど、魅力発信等事業全体の事業効果を最大化するための取り組みを行うこと - 各月ごとに事業実施の結果について分析・評価し、次月以降の運用を改善するとともに、当該分析結果について報告すること - 本事業で行う取り組みまたは本事業により作成した成果物は、国民の誰もがアクセスできる形態とすること

00 事業概要／基本方針

(1) 事業全体の基本方針

本事業において、要綱・主眼に記載される

介護職など自らが主体となり、
自らの声で介護の仕事の魅力・やりがい・誇りを発信する

ことを最も重要な方法論として位置付ける。

上記事項を、ロジックモデルにおける“活動”の基本方針に据える。

当法人としては「介護職自らの声」を現役介護職が発信するメッセージ・発言・文章など広義でのコンテンツと定義し、かつロジックモデルの“資源”の一つと捉え、活動の中で如何に効果的に活用できるかを重視しつつ、アウトカムからのバックキャスティングによって事業内容を定めていく。

企画委員会

専門的な知見による事業全体のアドバイス

取り組み①

アンバサダーの育成

介護職が自らの声で発信する技術を学ぶワークショップ。介護職の内なる誇りを言語化し、他に共有するマインドセットを学ぶ。

＼ 行政・業界と一緒に発信 ／

取組② アンバサダーによる連携発信活動

行政や団体と連携して
発信活動を行うプラットフォーム

＼ 業界内の人たちから発信 ／

取組③ アンバサダートークシリーズ

アンバサダー同士がトークする
プラットフォームとコンテンツ

＼ 業海外の人たちとも発信 ／

取組④ プロフェッショナルトークシリーズ

異業種のプロ同士がトークする
コンテンツ

+αのアクション 情報発信の基盤

ポータルサイト作成

提供されるコンテンツ

Web動画
(横&長い)SNS動画
(縦&短い)

Web記事

出前調達

リアルイベント
アーカイブインタビュー
記事

都道府県等との連携発信

- ①情報発信事業(全国へ向けた情報発信事業)
- ②情報発信事業(Webを活用した広報事業)との連携発信

00 戦略とアウトカム／アウトカムに対する活動概要

各指定アウトカムに対して、該当する活動の概要を次項にまとめた。

また、本事業の特性を鑑みた場合に、介護職による発信をより一層効果的にし、人材定着の促進という長期的アウトカムにつなげるために独自に5番目のアウトカムを設定した。

アウトカム1

介護の仕事に関する情報に触れたことのある人が増える

▶ 活動: 本事業の実施またはコンテンツ制作の過程においても介護職が自らの声で発信する情報に触れる新たな機会を創出する。

アウトカム2

介護の仕事内容に興味・関心を持つ人が増える

▶ 活動: 無関心層からの誘引を図れるような「現役介護職が自らの声で語る共感できるコンテンツ」を創出する。

アウトカム3

介護の仕事について理解する人が増える

▶ 活動: 現役介護職が自らの仕事の魅力を改めて理解する機会を創出する。

そして、その介護職による発信を受けて関心層が納得感を持って理解の深化をはかろうとするコンテンツを創出する。

アウトカム4

介護の仕事に関する社会的評価が高まる(イメージアップ)

▶ 活動: 見た人が尊敬を抱くような介護職のプロフェッショナリズムを見える化するコンテンツを創出する。

アウトカム5

(独自のアウトカム)

介護の仕事に対して介護職自身の自己評価が高まる(セルフリスペクト)

▶ 活動: 介護職が自らの声で発信できるよう研修等の形でスキルアップを促し、それによる成功体験や本事業における業界内外の人たちとの交流により、介護職自身がその仕事への誇りをアップさせる仕組みを創出する。

00 戦略とアウトカム／アウトカムと連携する取り組み

5つのアウトカムと4つの取り組みの連携について以下のように整理した。

アウトカム1 介護の仕事に関する情報に触れたことのある人が増える

アウトカム2 介護の仕事内容に興味・関心を持つ人が増える

アウトカム3 介護の仕事について理解する人が増える

アウトカム4 介護の仕事に関する社会的評価が高まる（イメージアップ）

アウトカム5
（独自のアウトカム） 介護の仕事に対して介護職自身の自己評価が高まる（セルフリスpekt）

取り組み④：プロフェッショナル
トークシリーズ

取り組み④：プロフェッショナル
トークシリーズ

取り組み③ⅰ：アンバサダートーク
シリーズ（リッチコンテンツ）

取り組み③ⅱ：アンバサダートーク
シリーズ（ライブ）

取り組み④：プロフェッショナル
トークシリーズ

取り組み①：発信できる介護職
（アンバサダー）の育成

取り組み②：アンバサダーによる
連携発信活動

00 戦略とアウトカム／取り組みの具体的な活動

前項で列記した各アウトカムにつながる取り組みについて、以下に詳細を記載する。

4つの取り組み

取り組み①：発信できる介護職（アンバサダー）の育成

全国で本取り組みに賛同する現役介護職を募り、発信に関わる研修を行うことで自らの声で発信ができる介護職として「魅力発信アンバサダー（仮称、以下アンバサダー）」を育成・認定する。

取り組み②：アンバサダーによる連携発信活動

取り組み①で養成されたアンバサダーは、本事業における他の情報発信事業とも連携し、必要に応じてイベントやコンテンツの制作に協力する。また、各地方自治体や関連団体によって実施される介護の魅力発信に資する事業へも協力する。

取り組み③ⅰ：アンバサダートークシリーズ（リッチコンテンツ）

取り組み③ⅱ：アンバサダートークシリーズ（ライブ）

全国のアンバサダー3～4名が実際に集い、身の回りの介護に関するトークを繰り広げる様子を高品質な映像に納めて動画コンテンツとして制作し配信する。また、同じく全国のアンバサダーが3～4名がオンライン上でトークを行い、その様子をWebライブ配信または動画コンテンツとして制作、配信する。

取り組み④：プロフェッショナルトークシリーズ

アンバサダーと異業種のプロフェッショナルが対談し、プロ同士だからこそ見えてくる職業意識の高さや職業を超えた共通点を浮き彫りにすることで、介護の仕事の魅力が高いレベルで伝わる映像コンテンツを制作し、配信する。

上記4つの取り組みで介護職の声を広く届ける

その骨子として取り組み①となる魅力発信できるアンバサダーの育成からスタートさせた

00 戦略とアウトカム／(補足資料)アウトカム・活動内容・取り組み一覧表

	アウトカム	活動内容	企画提案書該当ページ	アウトカムを達成するための具体的取組
1	①介護の仕事に関する情報に触れたことのある人が増える	(直接発信事業を担わない中で)本事業の実施またはコンテンツ制作の過程においても介護職が自らの声で発信する情報に触れる新たな機会を創出する。	13、14	取り組み④:プロフェッショナルトークシリーズ アンバサダーと異業種のプロフェッショナルが対談し、プロ同士だから見えてくる職業意識の高さや職業を超えた共通点を浮き彫りにすることで、介護の仕事の魅力が高いレベルで伝わる映像コンテンツを制作し、配信する。
2	②介護の仕事内容に興味・関心を持つ人が増える	無関心層からの誘引を図れるような「現役介護職が自らの声で語る共感できるコンテンツ」を創出する。	13、14	取り組み④:プロフェッショナルトークシリーズ アンバサダーと異業種のプロフェッショナルが対談し、プロ同士だから見えてくる職業意識の高さや職業を超えた共通点を浮き彫りにすることで、介護の仕事の魅力が高いレベルで伝わる映像コンテンツを制作し、配信する。
3	③介護の仕事について理解する人が増える	まずは現役介護職が自らの仕事の魅力を改めて理解する機会を創出する。そして、その介護職による発信を受けて有関心層が納得感を持って理解の深化をはかろうとするコンテンツを創出する。	11、12	取り組み③:アンバサダートークシリーズ 全国のアンバサダー3～4名が実際に集い、身の回りの介護に関するトークを繰り広げる様子を高品質な映像に納めて動画コンテンツとして制作し配信する。また、同じく全国のアンバサダーが3～4名がオンライン上でトークを行い、その様子をWebライブ配信または動画コンテンツとして制作し、配信する。
4	④介護の仕事に関する社会的評価が高まる(イメージアップ)	見た人が尊敬を抱くような介護職のプロフェッショナルリズムを見える化するコンテンツを創出する。	13、14	取り組み④:プロフェッショナルトークシリーズ アンバサダーと異業種のプロフェッショナルが対談し、プロ同士だから見えてくる職業意識の高さや職業を超えた共通点を浮き彫りにすることで、介護の仕事の魅力が高いレベルで伝わる映像コンテンツを制作し、配信する。
5	⑤介護の仕事に対して介護職自身の自己評価が高まる(セルフレスペクト)	介護職が自らの声で発信できるよう研修等の形でスキルアップを促し、それによる成功体験や本事業における業界内外の人たちとの交流により、介護職自身がその仕事への誇りをアップさせる仕組みを創出する。	7、8 9、10	取り組み①:発信できる介護職(アンバサダー)の育成 全国で本取り組みに賛同する現役介護職を募り、発信に関わる研修を行うことで自らの声で発信ができる介護職として「魅力発信アンバサダー(仮称、以下アンバサダー)」を育成・認定する。 取り組み②:発信できる介護職(アンバサダー)による連携発信活動 取り組み①で養成されたアンバサダーは、本事業における他の情報発信事業とも連携し、必要に応じてイベントやコンテンツの制作に協力する。また、各地方自治体や関連団体によって実施される介護の魅力発信に資する事業へも協力する。

00 実施スケジュール

	全体	取り組み①	取り組み②	取り組み③ リッチコンテンツ	取り組み③ ライブ	取り組み④
4月						
5月						
6月						
7月						
8月	7/19 企画委員会	募集	アンバサダー派遣 順次活動		配信	
9月	企画委員会	ワークショップ 順次開催			アーカイブ	
10月				撮影	配信	撮影
11月	企画委員会 「介護の日」			配信	アーカイブ	配信
12月				撮影	配信	撮影
1月	企画委員会			配信	アーカイブ	配信
2月				配信	アーカイブ	配信
3月	企画委員会 事業総括				アーカイブ	
4月	成果報告			合計4個	合計7個	合計4個

概要

企画委員会 : 事業年度中に5回の開催を想定。

取り組みの事前事後に意見を諮問する。

取組① : 6月から募集、8月下旬～全国で養成ワークショップを順次実施

取組② : アンバサダー要請を受け、8月以降から順次派遣を開始

取組③ : アンバサダー要請を受け、9～2月まで毎月コンテンツを公開

取組④ : アンバサダー要請を受け、11～2月まで毎月コンテンツを公開

介護の日

11月11日の介護の日に合わせて、各種コンテンツの公開タイミングを合わせていき、一体感を持った介護の魅力発信に繋げていく。

独自提案「KAiGO PRIDE DAY」

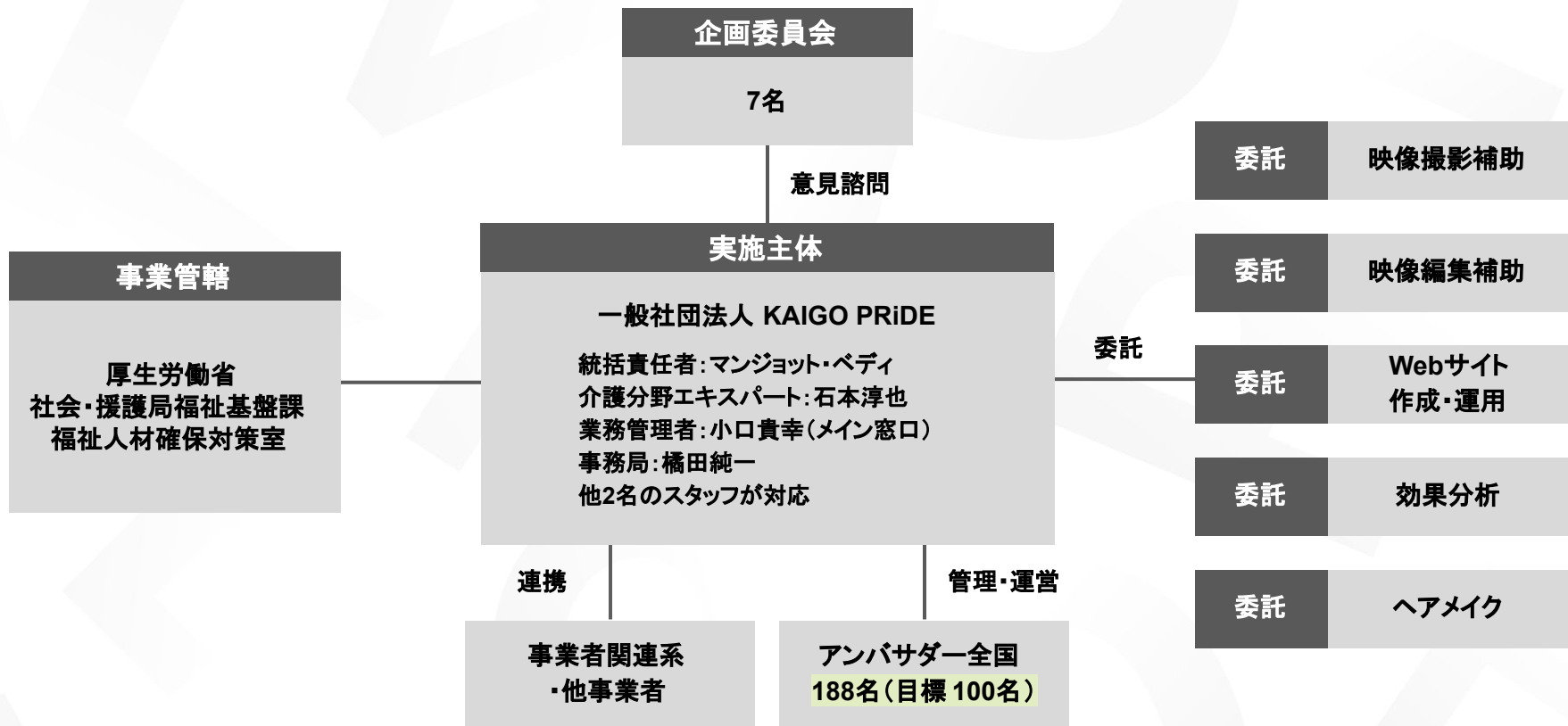
当法人も介護の魅力発信の新たな機会創出を目的に 2月22日を「KAiGO PRIDE DAY」として記念日登録している。

毎年国や県を跨いで現役介護職が様々な魅力・情報発信を行う主催イベント「KAiGO PRIDE WEEK」を開催しており、介護の日同様にコンテンツ発信のタイミングを合わせて相乗効果を図っていく。

01

実施体制・企画委員会の設置

01 実施体制・企画委員会／全体像



Kaigo[®] PRiDE

KAiGO × Creative
現場からの声で紡ぐ、介護をブランディングするKAiGO PRiDEが本事業を実施した

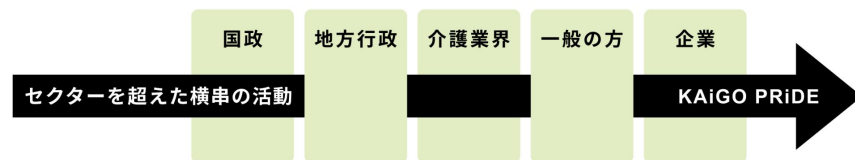


ホームページ

「KAiGO PRiDE」は、厚生労働省が主導する介護施設の生産性向上を目指すパイロット事業の一部としてスタートした魅力発信プロジェクト。このプロジェクトは「KAiGO × Creative」をコンセプトに、現役介護職の真実の声を核にしたコンテンツを通して介護の魅力を全国に発信し、ブランディングを強化していくものである。2020年12月に一般社団法人として法人化。全国の介護職のポートレート撮影を始めとする様々なコンテンツを作成し、それらをトークショーや展示会TV-CMなどのPR活動に活用するなど多様な魅力発信活動を行っている。地域活動を全国的な運動に昇華させ、行政や業界団体との協力により介護職の魅力を一体感を持って発信し続けている。

全国の様々な団体と共に歩んできました。

行政や業界団体、地元メディアなど複数のセクターをKAiGO PRiDEが横串を刺すことで一体感と連続性を持って魅力発信活動を行う土壌づくりを行ってきた。



連携団体：日本介護福祉士会、各都道府県介護福祉会、全国ホームヘルパー協会、社会福祉協議会、ハローワーク、など

01 実施体制・企画委員会について／構成委員会プロフィール(有権者)



訪問介護の専門家

田尻 亨氏 (企画委員長)

全国ホームヘルパー協議会 会長
熊本県ホームヘルパー協議会 会長

訪問介護分野における広い知見を持ち、メディア等での提言も行っている。「Hm. KAiGO PRIDE」(訪問介護プライド)として、自身が会長を務める熊本県ホームヘルパー協議会の活動の一環として、県内高校への出前講座なども積極的に行っている。



実践的な学識経験者

加藤 幸夫氏

社会福祉法人寿陽会
城西国際大学 福祉総合学部福祉総合学科 教員
千葉県介護福祉士会 キャリアアップ支援委員

介護福祉士・社会福祉士として介護現場で活躍。城西国際大学で介護スキルの教育にも携わっている。学識的視点と福祉を志す若者に触れる立場としての視点から本企画へのアドバイスを期待する。



福祉人材育成の専門家

瓜生 律子氏

社会福祉法人世田谷社会福祉事業団
世田谷区福祉人材育成・研究センター センター長

世田谷区ケアマネジメントシステムの構築、高齢者見守り施策や地域包括ケアシステムの構築などの多くの福祉事業に従事。世田谷区高齢福祉部長を歴任し、平成31年4月より現職。介護支援専門員、社会福祉士の資格を持つ。



施設経営の専門家

藤巻 佳祐氏

社会福祉法人奉優会
特別養護老人ホーム 弦巻の家 施設長

施設長としてICT/IoTの積極的な活用による次世代型特養の実現に取り組む他、SNSや外国人材の活用など様々な方法でブランディング観点で施設経営に臨む。介護職による発信にも理解があり、施設長の立場として本事業への効果的なアドバイスを期待する。

これまで当法人のアンバサダーとして実際活躍してきた現役介護職も委員に起用



並木 裕太郎氏

社会福祉法人
世田谷社会事業団
特別養護老人ホーム芦花ホーム



藤田 麻衣子氏

公益財団法人
湯浅報恩会
寿泉堂香久山病院



岡村 瑞葵氏

社会福祉法人
岡山中央福祉会

クリエイティブのプロと介護のプロがタッグを組み、 介護の魅力を見える形にします



代表理事
マンジョット・ベディ

エグゼクティブクリエイティブディレクター
カメラマン

広告業界で30年の経験を持ち、伊勢神宮の日本魅力発信やトヨタ自動車／レクサスのグローバル施策に携わるプロフェッショナル。経営者視点でのクリエイティブ戦略立案に長け、認知症カフェ「as a cafe」をデザイン・プロデュース。



理事
石本 淳也

(社)熊本県介護福祉士会会長
(公社)日本介護福祉士会相談役

2008年度より(社)熊本県介護福祉士会会長に就任(現職)2016年度より(公社)日本介護福祉士会 会長に史上最年少で就任。2020年6月に退任し、現在は熊本市内の特別養護老人ホームの施設長を務める。2025年に熊本県からの推薦を経て、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰を受賞。

02

Webを活用した広報の実施 一事業の実績(取り組み①～④の紹介)

02 Webを活用した広報活動の実施概要

Webを活用した広報活動にて、本事業のミッションである『福祉・介護の仕事の興味関心度の向上、仕事の魅力についての発信』を達成するために、4つの取り組みを実施した。

まずはこの発信の軸となる、自らの声で魅力発信できるアンバサダーの育成を取り組み①とし、介護職の声を広く届けるコンテンツの軸とした取り組み②～④を実施。本章では各取り組みの詳細実施内容を記載する。

取組①

アンバサダーの育成

介護職が自らの声で発信する技術を学ぶワークショップ。
介護職の内なる誇りを言語化し、他に共有するマインドセットを学ぶ。

＼ 行政・業界と一緒に発信 ／

取組②

アンバサダーによる連携発信活動

行政や団体と連携して
発信活動を行うプラットフォーム

＼ 業界内の人たちから発信 ／

取組③

アンバサダートークシリーズ

アンバサダー同士がトークする
プラットフォームとコンテンツ

＼ 業界外の人たちとも発信 ／

取組④

プロフェッショナルトークシリーズ

異業種のプロ同士がトークする
コンテンツ

+αのアクション 情報発信の基盤

ポータルサイト作成



02 取り組み①アンバサダーの育成／実施背景

現状の 課題

本事業の基本方針である「介護職など自らが主体となり、自らの声で」というコンセプトにおいて、一番初めに課題になるのが「魅力を感じていても言語化できていない職員が多い」ということである。本課題を解決すると同時にそれ自体を仕組み化・コンテンツ化するための取り組みを実施した。

実施の 目的

- 介護職の魅力と社会的意義を広く伝えられる現役介護職を育成
- 現役介護職員の情報発信スキルを向上させ、業界のイメージアップに貢献
- 介護業界に対する理解を深め、新たな関心や人材を引き寄せ

取組 概要

「アンバサダーの育成」は、現役介護職員からの公募を通じて、情報発信のスキルを養成し、その能力を認定するための取り組みを全国 7地域/計7ヶ所を実施した。
また、参加出来なかった方々に向けて オンラインでのワークショップも追加開催を行ったところ、大きな反響と再度開催の声が多くあったため2回目の開催も行った。

ワーク ショップ 概要

介護業界の魅力と重要性を社会に広く伝えるためのアンバサダー育成のため、1日の集中研修を行った。参加者は効果的な情報発信のマインドセットを学びつつ、自らに向き合う時間を通して本人が気づいていない介護の魅力を言語化し仲間と共有することで、介護職の誇りとプロフェッショナリズムを社会に向けて発信する力を身につけた。

02 取り組み①アンバサダーの育成／ワークショップ概要

参加募集

対象は自身の業界の魅力発信に意欲のある現役介護職。経験や国籍は問わない。
企画委員会等の意見も踏まえ、厚生労働省や各自治体等と連携して実施。
例えば、各自治体や介護関連団体の協力を経て、管轄事業所や会員等に広報をしていただく。
告知・募集のための特設サイト / チラシ等を作成する。

募集人数

1ヶ所10～最大20名程度を想定し、全国で計 100名のアンバサダー育成を目指す。応募数が規定以上になった場合は先着順とする。

実施時期

募集期間1ヶ月程度を経て令和6年度 7～8月にかけて順次実施。

実施地域

全国7地域(北海道、東北、関東、中部、関西、中国・四国、九州・沖縄)において
地域ごとの特性に応じた研修会場等で実施。

実施日程

ワークショップ形式で実施し、1日 / 箇所の集中研修スタイルで実施。
これまで類似研修の経験が豊富な講師が対応。

研修内容

事業説明、「介護の魅力とは何か」の講義、自身の内にある魅力の言語化、言語化した魅力の共有、肖像権等の権利について、今後の活動について ...等

業界内外のプロが講師陣となり、一人一人の魅力を形にする



小口 貴幸

一般社団法人KAiGO PRiDE
代表理事



マンジョット・ベディ

一般社団法人KAiGO PRiDE
代表理事



石本 淳也

一般社団法人KAiGO PRiDE
代表理事

これまで多数のワークショップを開催し、豊富なファシリテーター経験を持つ。研修会では、受講者一人ひとりが主体的に学べるよう、講座全体の進行を担当。議論を活性化させる工夫を取り入れながら、知識の定着をサポートする。また、研修内容が実際の現場で活かせるよう、具体的な事例やケーススタディを交えながら講義を行う。

コミュニケーションのプロフェッショナルとして、企業研修や講演を数多く手掛ける。KAiGO PRiDEの研修会では、「伝える力」の重要性に焦点を当て、相手にわかりやすく伝える技術や、効果的なプレゼンテーションのコツを指導する。実践的なワークを取り入れながら指導を行い、研修全体の監修を担当。受講者が自身の強みを活かしながら、自信を持って発信できるよう支援する。

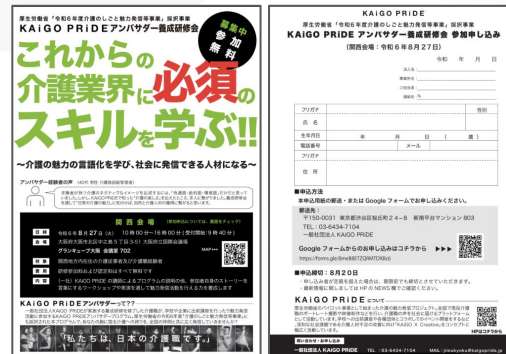
介護業界の第一線で活躍し、現場で培った豊富な経験を持つ。研修では、介護職として求められるマインドやプロフェッショナルとしての姿勢について伝え、受講者が現場で実践できるよう指導を行う。また、介護業界の最新動向を踏まえながら、今後の課題や可能性についても発信し、受講者が業界の未来を見据えて成長できるようサポートする。介護職の立場から、日々の業務に活かせる実践的な考え方を伝え、受講者の意識改革を促す役割を担う。

02 取り組み① アンバサダーの育成 イベント詳細 各会場の様子

関西会場

日時 : 8月27日(火) 10:00~16:00
開催場所 : グランキューブ大阪 会議室 702
参加者数 : 27名
費用 : 研修参加料および認定料はすべて無料
内容 : (一社)KAiGO PRIDE の講師によるプログラムの説明の
他、参加者自身のストーリーを言葉にするワークショップ や
実演を通して魅力発信活動を行える力を養成する

【告知用チラシ】



02 取り組み① アンバサダーの育成 イベント詳細 各会場の様子

関東会場

日時 : 8月8日(木) 10:00～16:00
開催場所 : 東京都立産業貿易センター浜松町館
参加者数 : 20名



東北会場

日時 : 8月22日(木) 10:00～16:00
開催場所 : 仙台国際センター 小会議室
参加者数 : 13名



02 取り組み① アンバサダーの育成 イベント詳細 各会場の様子

中部会場

日時 : 8月26日(月) 10:00～16:00
開催場所 : 愛知県産業労働センターウインクあいち
参加者数 : 19名



北海道会場

日時 : 9月2日(月) 10:00～16:00
開催場所 : ACU-A 小会議室
参加者数 : 24名



02 取り組み① アンバサダーの育成 イベント詳細 各会場の様子

中国四国会場

日時 : 9月11日(水) 10:00～16:00
開催場所 : 広島YMCA国際文化センター
参加者数 : 15名



九州・沖縄会場

日時 : 9月12日(木) 10:00～16:00
開催場所 : JRE天神クリスタルビル貸会議室
参加者数 : 35名



02 オンラインの実施内容を紹介

第1回 Kaigo PRiDEアンバサダー養成研修会 オンライン開催

日時 : 2024年12月19日(木) 10:00～16:00
開催場所 : オンライン(Zoom)
参加者数 : 17名
実施背景 : 現地開催が定員超えの為、参加できなかった方
 天候状況等で現地で参加できなかった方を対象に
 開催。



第2回 Kaigo PRiDEアンバサダー養成研修会 オンライン開催

日時 : 2025年3月23日(日) 10:00～16:00
開催場所 : オンライン(Zoom)
参加者数 : 18名
開催背景 : 企画委員会時に『告知期間が短いので、もっと
 長期間設けてはどうか』との指摘を受け、1月中旬
 頃から告知を開始した上で開催。



02 イベントの参加者の声



研修に参加して楽しかった。改めて介護の魅力を感じられて、モチベーションが上がりました。



若い人にどう伝えれば良いのか分らなかったの
で、この研修に参加しました。介護職自身が自分の
仕事にプライドを持っていないと魅力発信できない
と改めて気が付きました。



自分のやってきた事は間違いじゃないんだなと感じ
る事ができる研修でした。



いろんな方の介護を知ることができ、刺激になった。自分
がやる仕事に自信が持てるようになった。次世代の
介護をになってくれる方々や同世代の方に、介護の魅力
を発信して少しでも多くの人に良さを知ってもらう機会を
作れたらと思っています。



熱いものがある。介護ってもっと面白い。職場で
愚痴っている場合ではない。自分がもっと開いて
いこうって言える、 そうすると利用者さんも自
分もやりやすくなる。 ということが言える研修でし
た。



これから介護職になる方や介護に悩
んでいる方たちに、介護の素晴らしさ
を伝えられるアンバサダーになってい
けたらいいと思っています。

介護のネガティブを払拭して こんなに
楽しい仕事はないんだよともっともっ
と伝えたいです。



私たちが普段受けている介護職の研修と
は少し異なる印象を受けました。その分、
新しい発見も多くありましたし、参加者の
皆さんが知りたいことややってみたいこと
が、この研修に詰まっていたのではないかと
感じました。

知識や技術は他の研修で学ぶことができますが、この研修では 'マイン
ド' の部分を振り返り、言葉にするという経験ができました。そうした機
会はこれまであまりなかったので、特に若い世代の職員にぜひ勧めたい
と感じています。



02 イベントの参加者の声

Q.今回のアンパサダー研修会に対して、前問のように回答した理由をお書きください（前問は満足度を尋ねるもの）	Q.今回の研修会に対してご意見、ご要望がございましたら、ご自由にお書きください
勉強になりました	1日ありがとうございました。自分でも活動をしています。子供がなりた職業10位以内に介護職を入れるのは私の夢です。その1つとしてKAIGO PRIDEアンパサダーとして、活動できればと思います。
ケアマネと言ふ職業にプライドは持っているつもりでしたが、やりがいまでは感じていませんでした。	ケアマネも介護職ですが、1種独特な気がします。現場にいた時は腰が痛い、あの人が嫌など文句ばかり言ってましたが、ご利用者様に直接触れ、人を感じられることが本当はとっても楽しく素晴らしいことだったなあと感じました。
自分が行ってきたこと、感じてきたことが認められたように感じ、他の人にも同じ思いを伝えたいと思います。	楽しく参加することができました。ありがとうございました。
今までSNSはやっていましたが、ネガティブなことが多かったと反省しました	活動についてとても興味がありますが、現在は様々な活動しているので、活動が難しいです。LINEは個人的なもので、お仕事用として使用することに抵抗があります。公式アカウントではなく、LINE WORKSなど他の方法も検討してほしい。
自分の仕事を振り返り、やはり誇り高き仕事だと再確認できました。	介護をしている方々自身が自分の仕事に誇りを持っていることがとても心に響きました。業界の内側からイメージを変えていけるよう自分にできることを積み重ねていきたいと思います。貴重なご講演ありがとうございました。
自分が気がつかなかったことを新しく発見できた	いろんな介護職の人のコミュニケーションがとても楽しかった。そして思いが共有できたり、同じと感じている人がたくさんいることに感動した。KAIGO PRIDEの事業活動とても魅力的だった。
改めて介護職って素晴らしいなと思いました	実際に活動した方のお話も聞いてみたいと思った。介護の仕事がマイナスイメージである事は他の業でも一緒であると思った。ますますイメージ払拭について考えたいし伝えたいと思う。
もう少し他の方ともお話ししてみたかった。各項目聞いてみたかった。	カメラ越しだから伝わることもある。伝わる感動もある。フィルターが何かを伝えないのだとしたら、先入観も消してくれると思いました。介護の魅力を等身大の言葉で伝えていきたいと思います。
手紙、リモート、カメラ越し、リアルな声。小口さんの話もリアルで聞きたかったから。	魅力発信の大切さ、介護に対してプライドをいかに現職員に理解していただき、関わるすべての方々の幸せを考え、コミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。地域を絡めて進めていかに、都度LINEなどで教示していきたいです。
改めて、この仕事は、素敵なんだと、いろんな方の話を聞いて感じた	講師をやっていた小口さんのお話は、介護をやっていないとおっしゃりながらも、介護を実際やっている自分たちがなるほどと納得したり、引き込まれたりするトークに心が動かされました
スタッフ一人ひとりに誇り、プライドを今以上に持っていただけの方法を教えてくださいました。	
様々な方の話を聞いて、改めて楽しい仕事だと思いました。もういろいろな方の話を聞いてみたいと思います。	
話をしているうちに、みんな喋っていく姿や、この仕事をしていて、大変な事はあるけど、それでもやりがいを持っている仲間の話が聞けて、自分の誇りやプライドが高まりました	
介護のマイナスだと思っていたメモ考え方によって魅力になり、介護の可能性は無限大だと感じた	
話がわかりやすく、共感を持てた	
自分自身を見つめ直す良い機会になり、これからの業務もプライドを持ってやっていくと言う気持ちになりました	アンパサダーと聞いて少し緊張していましたが、ワークシートとグループでの話し合いや全体での発表で少し自信ができました。ありがとうございました。
皆さんからいろいろな意見などを聞けて、充実した時間になりました	長時間ありがとうございました。介護の研修と言うと技術的な内容はわかりやすいですがKaigo PRIDEの研修はそこに働く人の精神面をピカピカに磨き上げる唯一の研修だと感じました
誰かが人前で話すのは苦手だと思います。特に福祉系の人はそのようなことを苦手と思う人は多いと思います。研修を通してワークを一つ一つこなしていくことで、振り返ってみると人前で話す場を身に付けさせる手法は秀逸でした。	会社の始めでの参加となりましたが、介護を知っていて下さる方々、クリエイティブな方々が多く、他進捗して下さる方の説明や内容もとてもわかりやすく、さすがと感じています。1人でできない仕事だからこそ、タッグを組み広げる力を多く発信していけるようお手伝いできればと思っています。ありがとうございました。
思ったことが明確になり、今置かれている状況を知り動いていくことができることに「介護業界離れ！」と感じることができました。他の業種のプロの方々への助けを借りて、日本全体福祉全体の幸せが増していけるようになればと思います。	人前で話すのは苦手ですが、話してみると楽しい時間を過ごせました。他の方の話を聞き、いろいろな考えがあり、自分自身の成長にもつながったと思います。ありがとうございました。
あまり自信を持つことができなかった。けれど、研修を通して自分の仕事はかっこいいんだ。誇りを持っていいんだとポジティブな思いになり、自信を持ていこうと思えた。	同じ志を有する仲間がせっかく出会えたので（ZOOMではあるが）、グループ内においてフリーで話す時間があればさらに良かったなと感じました。限られた時間で、遠隔側から伝えたいこともあり、難しいとは思いますが、研修には参加して、とても楽しかったです。ありがとうございました。
グループごとのディスカッションとても良かったのですが、最初は緊張してしまい、時間が足りないと感じました。	自分に自信がない、介護福祉士と言う自分に自信が持てない、まさに私のことを言われたようでした。なんとなく続けていたと思っていたけど、続けている理由が分かりました。自分を振り返れる自分に自信が持てる有意義な時間となりました。
7.38.55の法則のボディランゲージやトーンの話し方より人は受け取りが違い「なるほど」と思いました。今度そこを気にしながら伝えて行けたらと思います。	他の職員にもお勧めしたいなと思います。ありがとうございました。
もともと、誇りやプライドは持っていた方だと自覚している。時間がなくて仕方ない部分があるが、午前中の部分をもう少し時間をとって説明をして欲しい。良い意味でもっと聞きたかったということ。	とても楽しく研修会に参加できました。今年度は青森県でも介護福祉士さん達を元気にするイベントを開催したいと思っています。また、若手県小の小さな街でファッションウォーク共生社会の実現をテーマにを開催の方で現在検討中です。オープンキャンパスでポर्टレートお借りして展示させていただきます。また動画「My Story」も高校生に見てもらいたい。引き続きよろしくお祈いします。
どういう風に説明すれば、相手に伝わるか、興味共感してもらえるかを具体的に教えてもらえ実践したいと思いました	貴重な時間をいただき、本当にありがとうございました。介護の魅力発信に少しでも役立てればと考えております。
モチベーションが上がる内容だった	
今までは介護との直接的な関わりが多くなかったのですが、2年前から介護福祉士に関わるようになり、AIが進歩しても、介護福祉士は絶対必要な仕事であることがわかった。地域の方々のイメージが悪く、人材確保が非常に難しい状況です。こんな状況をなんとか変えたいと言う思いが強いからです。KAIGO PRIDEアンパサダーの役割について学ぶことができたこと、グループワークを通じ話す内容のイメージを持つことができたためセルフレスベクトにもつながった。話し方や伝え方も勉強になった。	
自分たちの仕事は、かっこよくて、自慢できる仕事と再確認できた	意外にあっという間で、充実した研修でした。ありがとうございました。
言語化や発信方法が詳しく理解できたため	私は外国人介護職員の方の力になりたいと思っています。日本で介護のお仕事をして良かったと思っていただけるようにこれからも伝えていきたいと思っています。ありがとうございました。
自身で考えられていた事は、おかしくないと理解、再確認できたため	
小口さんの話、マンジョットベティさんの話、石本さんの話がわかりやすくてよかったです。	



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動

実施概要

「アンバサダーによる連携発信活動」は、介護の魅力を言語化し情報発信スキルを学んだ介護職アンバサダーが、自治体や介護関連団体からの依頼に基づき、出前講座・イベント出演・コンテンツ制作などに積極的に参加し、介護業界の情報発信と教育的活動を担う取り組みである。この活動を通じて、介護業界への理解と関心を深め、ポジティブなイメージを社会に広めることを目指した。

実施の目的

- アンバサダーの積極的な関わりを促進し、介護業界の情報発信と教育的活動を強化
- 地域社会と介護業界との連携を深め、介護の仕事への理解を促進
- アンバサダーが魅力発信領域で活躍できるプラットフォームを構築し、その声を広く届ける

実施内容

- 出前講座 : 学校・介護施設・企業での介護に関する講座の実施
- イベント出演 : 地域イベント・介護関連の展示会・就職イベント・シンポジウムでのパネリストやスピーカーとしての活動
- コンテンツ制作 : 動画、インタビュー記事など、魅力発信コンテンツの制作(出演)協力

派遣フロー

1. 依頼 : 当法人が一元窓口となり、アンバサダーへの活動依頼を調整・管理
2. 準備 : 依頼内容やアンバサダーの属性を鑑みて適正な人材を選出。トーク内容の整理等、必要な事前準備をサポート
3. 実施 : 依頼に応じた活用を実施
4. 謝礼 : アンバサダーに対して内容に応じた謝礼及び交通費を支給

02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 +α

アンバサダーたち自らのアクションによる発信活動企画&実施

全国 計13回の自主企画の開催



当初の実施内容に加えて、アンバサダー自らが主体的に活動の場を企画し発信したという事実は、アンバサダーたちが魅力発信活動の重要性を本質的に理解したと言える。それは我々が最も重視していた「自らの声で介護の仕事の魅力・やりがい・誇りを発信する」アクションにつながったことであり、大きな成果である。

02 アンバサダーの派遣活動一覧(補足資料)

ジャンル	依頼者	派遣日	派遣者名	派遣内容
イベント出演	株式会社朝日新聞社	7月13日	ソウさん	朝小・朝中高サマースクール2024 at 東京理科大学 トークショー
取材対応	楽天グループ株式会社	8月7日	藤巻さん 小此木さん 横塚さん 桑原さん 天崎さん	漫画コンテンツ 左利きのエレンタイアップコンテンツ 取材
イベント出演	楽天グループ株式会社	8月7日、9日、21日	渡部さん 馬場田さん 宮田さん	動画「介護のホンネ放送局」出演
イベント出演	株式会社朝日新聞社	10月21日	二瓶さん	教材用コンテンツ「おしごとほくぶつかん」への出演
取材対応	PwCコンサルティング合同会社	11月13日、19日、22日、25日、27日	塚越さん 上野さん 中尾さん 金城さん 畠山さん 藤木さん	ヒアリング
出張・出前	北九州市役所介護保険課	11月23日	上西さん 豊田さん	介護みらい会議 ワークショップへの参加
自主企画	自主企画	11月26日	満永さん、辻さん、西村さん	Instagramライブ配信
イベント出演	岩手県立大学	12月7日	松永さん	理事の小口とともに講演、トークセッション
出張・出前	株式会社朝日新聞社	12月9日	塚越さん	小学校向け出張授業
出張・出前	株式会社朝日新聞社	12月10日	加藤さん	小学校向け出張授業
出張・出前	株式会社朝日新聞社	12月12日	空野さん	高等学校向け出張授業
自主企画	自主企画	1月4日	大串さん	イベント「B-RAVE ONE」出前講座
イベント出演	小規模多機能ホームふきのとう	1月25日	関口さん、木樨さん、中川さん	「運営推進会議」地域への発表
出張・出前	株式会社朝日新聞社	1月27日	山崎さん	小学校向け出張授業
自主企画	自主企画	1月30日	満永さん、辻さん、西村さん	Instagramライブ配信
出張・出前	株式会社朝日新聞社	2月3日	満永さん	中学校向け出張授業
出張・出前	北海道札幌月寒高等学校	2月4日	関口さん、木樨さん、中川さん	高等学校向け出前講座
自主企画	自主企画	2月17日	山崎さん、森川さん	トークイベント「The VOICE of KAIGO@愛知」
自主企画	自主企画	2月17日～24日	丹内さん	イベント「PICTURE in the PRIDE～自分らしさの写真展～in hokkaido」写真展、トークショー
自主企画	自主企画	2月19日	古森さん、岡村さん、桑本さん、空野さん	トークイベント「ハートフルKAIGOダイアログin中四国版」
自主企画	自主企画	2月19日	上地さん、満永さん、條さん、濱上さん、畑中さん、静岡さん	トークイベント・映画上映「未知導ク～介護ノ夜明ケ～in長崎」
自主企画	自主企画	2月22日	上地さん、満永さん、條さん	イベント「みんなで創る、新しいKAIGOのカタチ」体験、展示、ファッションショーほか
自主企画	自主企画	2月22日、23日、24日	丹内さん、阿部さん、木場さん	イベント「PICTURE in the PRIDE～自分らしさの写真展～in hokkaido」写真展、トークショー
自主企画	自主企画	2月23日	丹内さん、阿部さん、木場さん	トークイベント「The VOICE of KAIGO@北海道」
自主企画	自主企画	2月23日	宗像さん、藤田さん、本田さん、古川さん、大越さん、鈴木さん、丸山さん	イベント「LINK WALK in 福島」ファッションショー
自主企画	自主企画	3月2日	山崎さん	イベント「AICHI ハートフル KAIGO」トークショー、ファッションショー
イベント出演	新潟県社会福祉協議会 新潟県福祉人材センター	3月8日	並木さん	「福祉のしごと就職フェア」セミナー講師
自主企画	自主企画	3月21日	満永さん、辻さん、西村さん、古森さん	オンラインコミュニティ「KAIGOチェリッシュ」

02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 自主企画

Instagram live

日時 : 2024年11月26日 21:00~
開催場所 : SNS (Instagram)
参加者数 : 20名
テーマ : 「ケアする人をケアしたい」



イベント出演

日時 : 2025年1月4日
開催場所 : 「B-RAVE ONE 2025」イベント内
参加者数 : 約300名
テーマ : 「みんなが安心にくらせる街を考えよう。」



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 自主企画

Instagram live

日時 : 2025年1月30日 21:00~
開催場所 : SNS(Instagram)
テーマ : 小・中・高・大学生を対象にしたイベントにて
「みんなが安心にらせる街」



トークイベント出演

タイトル : 令和6年度 県民フォーラム
日時 : 2025年2月11日 14:00~16:45
開催場所 : 西宮市勤労会館
テーマ : ケアって尊い。みんなで描く！
ケアで日本を笑顔にする未来
内容 : アンバサダーによるトークショー



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 自主企画

トークイベント出演

タイトル : 「The VOiCE of KAiGO@愛知」
 日時 : 2025年2月17日(月)
 開催場所 : オンライン
 内容 : アンバサダーによるトークショー



トークイベント出演

タイトル : ハートフル KAiGOダイアログ in 中四国版
 日時 : 2025年2月19日(水) 20:00~
 開催場所 : オンライン
 内容 : アンバサダーによるトークショー



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 自主企画

トークイベント出演

タイトル : 未知導ク〜介護ノ夜明ケ〜in長崎
日時 : 2025年2月22日(土) 13:30~16:00
開催場所 : プラザおおむら(長崎県大村市)
内容 : アンバサダーによるトークショー



トークイベント出演

タイトル : みんなで創る、新しい Kaigoのカタチ
日時 : 2025年2月22日(土) 13:30~15:30
開催場所 : ラヴィーレグラン夙川(兵庫県西宮市)
内容 : ポートレート写真展、介護美容体験、
ミニらいとモルック



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 自主企画

イベント出演

タイトル : PiCTURE in the PRiDE～自分らしさの写真展～
In hokkaido

期間 : 2025年2月18日(火)～ 24日(月)

開催場所 : 香深港フェリーターミナル(北海道礼文町)

内容 : ポートレート写真展 アンバサダーのトークショー

出演者 : 丹内さん・阿部さん・木場さん



イベント出演

タイトル : LiNK WALK in 福島

日時 : 2025年2月23日(日) 14:00～

開催場所 : 福島 ほっとあたま 多目的ホール

内容 : 介護職と高齢者によるファッションショー、
ポートレート写真展



現役介護職員と高齢者による、ファッションウォーク。
一人ではできないけど、二人なら歩ける。 **入場無料**

LiNK WALK in 福島

東北初開催
KAIGO® PRIDE
介護の魅力を福島から発信

LiNK＝二人のつながり、社会とのつながり、希望とのつながり
WALK＝動に動くこと、新しい価値に動くこと、ボランティアに動くこと、バースがでること

日時 2025.2.23(日)14:00-
(30分程度)

場所 ほっとあたま 多目的ホール
(郡山市熱海町熱海2-15-1)

キタリよくしめの履き
着きバース履き
同開催

※お申込みは不要です。直接会場にお越しください！

主催：有限会社お花畑・ケアセンターいちかわ
共催：(一社) KAIGO PRIDE、有限会社マダムタカコカンパニー
後援：郡山市、福島県介護福祉士会
郡山商工会議所、(一社) 郡山熱海温泉観光協会、熱海町商工会
お問い合わせ先：原簿・本田 (TEL.070-3276-6077)

02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 自主企画

イベント出演

タイトル : ハートフル KAiGO in AICHI
 日時 : 2025年3月2日(水) 10:30~14:00
 開催場所 : 久屋大通公園テレビーヒロバ(愛知県名古屋市)
 内容 : LiNK WALK、アンバサダーによるトークショー



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 自主企画

トークイベント出演

タイトル :「The VOiCE of KAiGO@北海道」
 日時 :2025年2月23日(日)
 開催場所 :オンライン
 タイトル :「The VOiCE of KAiGO@北海道」
 内容 :アンバサダーによるトークショー



トークイベント出演

日時 :2025年3月21日(金) 20:00~
 開催場所 :オンライン
 内容 :ストレスとの上手な付き合い方



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動

イベント出演

サマースクール

タイトル : 株式会社朝日新聞社様主催
「朝小・朝中高サマースクール 2024 at東京理科大学」
日時 : 2024年7月13日(土) 10:00～17:00
開催場所 : 東京理科大学 葛飾キャンパス(東京都葛飾区)
内容 : ポートレート写真展、アンバサダーのトークショー
来場者数 : 606名
出演者 : ソウさん



介護みらい会議

タイトル : 介護みらい会議
日時 : 2024年11月23日(土) 13:00～17:00
開催場所 : ATOMica(アトミカ)北九州(福岡県北九州市)
内容 : ワークショップ
出席者 : 上西さん・豊田さん



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 イベント出演

小学生向けデジタル教材

教材名 : 株式会社朝日新聞社様主催
教材用コンテンツ「おしごとはおくづかん」
日時 : 2024年10月21日(月)
開催場所 : サンの家(東京都新宿区)
出演者 : 二瓶さん



Introduction

Chapter 1

Chapter 2

Chapter 3

Chapter 4

トークセッション

日時 : 2024年12月7日
開催場所 : 岩手県立大学(講堂)
参加者数 : 92名
テーマ : 私たち(社会)から介護職へ伝えるリスペクト



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 イベント出演

地域発表

タイトル : 運営推進会議 地域への発表
日時 : 2025年1月25日 10:00～17:00
開催場所 : 小規模多機能ホームふきのとう(北海道札幌市)
内容 : アンバサダーによる魅力発信講座
テーマ : 介護の魅力とは?～入職前後の印象～
 介護って面白い
対象 : 市議会議員 町内会 包括支援センター
 大学・高等学校の教職員



福祉仕事フェア

タイトル : 福祉のしごと就職フェア in新潟
日時 : 2025年3月8日 12:30～13:20
開催場所 : 新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室(新潟県新潟市)
主催 : 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会
 新潟県福祉人材センター
テーマ : 介護職のリアルと福祉業界の新たな魅力
 ～"ふくし"業界のおもしろさ～
講師 : 並木さん



出展団体一覧		会場	出展時間	出展団体	出展内容
1	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
2	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
3	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
4	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
5	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
6	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
7	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
8	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
9	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
10	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
11	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
12	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
13	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
14	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
15	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
16	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
17	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
18	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
19	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
20	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会
21	社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	会場	12:30～13:20	社会福祉協議会	社会福祉協議会

02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 出張授業

出張授業

タイトル : 小学校向け出張授業

日時・開催場所 : i) 2024年12月9日／練馬区立高松小学校(東京都練馬区)
ii) 2024年12月10日／千葉市立真砂西小学校(千葉県千葉市)
iii) 2025年1月27日／名進研小学校(愛知県名古屋市)

テーマ・対象 : i) 介護ってなんだろう？
(5年生児童・124名)
ii) ありがとう いっぱいのしごと 介護 を知ろう。
(4年生児童・101名)
iii) 相手を思いやる優しい心を大切に
(5年生児童・83名)



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 出張授業

出張授業

タイトル : 中学校向け出張授業
 日時 : 2025年2月3日
 開催場所 : 姫路市立夢前中学校(兵庫県姫路市)
 テーマ : 介護(ケア)の力は無限大 !!
 参加者数 : 1年生の生徒 163人



出張授業

タイトル : 高等学校向け出張授業
 日時 : 2024年12月12日
 開催場所 : 香川県立高松南高等学校(香川県高松市)
 テーマ : 重要な他者
 参加者数 : 介護課の生徒 30人



02 取り組み② アンバサダーによる連携発信活動 取材対応

「左利きのエレン」 スピノフ漫画取材

日時 : 2024年8月7日(水)
取材場所 : 特別養護老人ホーム弦巻の家(東京都世田谷区)
主催 : 楽天グループ株式会社
作品名 : 左ききのエレン特別篇
対象者 : 藤巻さん・小此木さん・横塚さん・
桑原さん・天崎さん



動画コンテンツ 「介護のホンネ放送局」

日時 : 2024年8月7日(水)
取材場所 : 特別養護老人ホームパール代官山(東京都渋谷区)
住宅型有料老人ホームゆうハイム・くやはら
(群馬県沼田市)
有料老人ホーム ケアホームカナン(山形県新庄市)
: 楽天グループ株式会社
主催 : 介護のホンネ放送局
出演者 : 渡部さん・宮田さん・馬場田さん





02 取り組み③: アンバサダートークシリーズ

実施概要

「アンバサダートークシリーズ」は、介護業界で活躍するアンバサダーが集い、介護に関する様々なテーマについて自由に話し合う動画コンテンツとライブ配信コンテンツである。
この企画は、介護の現場からのリアルな声を通じて、業界の課題や魅力、日々の業務での心温まるエピソードや真似したくなる介護スキルなど、幅広い話題をカバーする。テレビ番組風のエデュテイメント映像(娯楽を通じた教育)コンテンツとして事前収録されたものを配信するほか、オンラインでのライブ配信も行い視聴者との双方向コミュニケーションを図る。

実施の目的

- 介護職のリアルな声を直接社会に届け、介護業界への理解を深める
- トーク番組風のテイストとエデュテイメントの手法により、ライトな関心層の視聴を促す
- 他のアンバサダーとの交流を通じ、介護の誇りへの新たな気づきと魅力発信の機運を高める

実施内容

今回実施した動画配信コンテンツは以下2つの形式で実施した。

リッチコンテンツ: THE VOiCE of KAiGO

ライブコンテンツ: THE VOiCE of KAiGO in LIVE

各動画の配信方法については次項にて記載する。

なお、トークテーマとして、「ロボット、ICT、外国人材、生産性」等の昨今の重点項目も盛り込んでいく。

02 取り組み③: アンバサダートークシリーズ

リッチコンテンツ

THE VOiCE of KAiGO

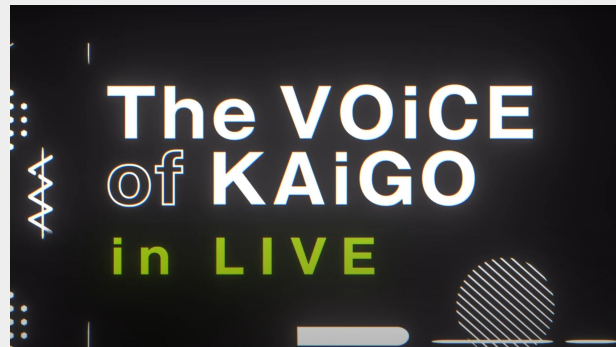


3人のアンバサダーが集まり、アンバサダー自身が気になる複数テーマに沿ってフリートークを展開。司会者を置かないスタイルにより、よりリアルな姿を演出した。テーマについてはネット等を通じて得られる時事性の高いものや本音の困りごとなども扱うことで、双方向性を持たせた。収録はリラックスした雰囲気の設定で行い、30分程度の動画へ編集し、配信。

実施スケジュール: 月1回の頻度でテレビ番組風映像コンテンツの配信を行った。事業年度中に5本 ※配信について別情報発信事業者と連携して行った。

LIVEコンテンツ

THE VOiCE of KAiGO in LIVE



アンバサダーがZoom等のオンライン上で会話できるプラットフォームに集まり、その様子をリアルタイムでYouTubeライブ等で配信。ライブ配信終了後はアーカイブとして視聴可能。

実施スケジュール: 月1回程度の頻度で開催した。

特別企画

多くの反響を呼んだ能登半島地震で災害対応を行った介護職たちのリアルな声

【KAiGO PRiDE】The VOICE of KAiGO in LIVE vol.6 <災害下の介護職>

Vol.6となる本配信は、特別版として令和 6 年能登半島地震で災害対応を行った介護職達から現場でのリアルなエピソードについて語ってもらいました。

KAiGO PRiDE

The VOICE of KAiGO

～特別企画～

令和6年能登半島地で避難所対応を行なった
全国の現役介護職たちによる“災害下の介護職”の生の声

本日の登壇者

石川	富山	千葉	群馬
大倉 清美氏	野村 幸伸氏	加藤 幸夫氏	新谷 夏海氏
KIYOMI OKURA	KOSHIN NOMURA	YUKIO KATO	NATSUMI SHINYA

(ファシリテーター: KAiGO PRiDE 小口貴幸)

02 取り組み③: アンバサダートークシリーズ イベント詳細

リッチコンテンツ / THE VOiCE of KAiGO

The VOICE of KAiGOは、全国の現役介護職が”実際に”集い合い、介護の”イマ”を等身大の視点で語りながら介護の魅力を伝えていく今までありそうでなかった動画コンテンツ。

【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO vol.1 |
福島 X 三重 X 岡山の現役介護職による本音トーク



<https://youtu.be/7ctMhxiYPHU?si=H1QuV2tMmlI9e0N4>

日時: 2024年11月11日

出演: 福島・三重・岡山のアンバサダー
(岡村さん、藤田さん、松原さん)

【動画リンク】



【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO vol.2 |
山形 X 東京 X 熊本の現役介護職による本音トーク



<https://youtu.be/3Hh42eRbbE0?si=kp0LrfXDn8tjwkUk>

日時: 2024年12月25日

出演: 山形・東京・熊本のアンバサダー
(菊池さん、茂原さん、並木さん)

【動画リンク】



Introduction



Chapter 1



Chapter 2

Chapter 3

Chapter 4



02 取り組み③: アンバサダートークシリーズ イベント詳細

【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO vol.3 |
北海道 X 兵庫 X 長崎の現役介護職による本音トーク



https://youtu.be/zC_Qa51E7_A?si=I2K6hC25O2jTPE3

日時: 2025年2月7日

出演: 北海道・兵庫・長崎のアンバサダー
(丹内さん、眞弓さん、満永さん)

【動画リンク】



【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO vol.4 | 福
島 X 愛知 X 広島の現役介護職による本音トーク



<https://youtu.be/QGkGVX1WitQ?si=BGAFqCvfrVCMkaXu>

日時: 2025年2月28日

出演: 福島・愛知・広島のアンバサダー
(山崎さん、宗像さん、古森さん)

【動画リンク】



Introduction



Chapter 1

Chapter 2



Chapter 3

Chapter 4



02 取り組み③: アンバサダートークシリーズ イベント詳細

LIVEコンテンツ／THE VOiCE of KAiGO in LIVE

【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO in LIVE vol.1 <福島x三重x岡山>



<https://youtu.be/Xwp6quYjvv8?si=kEZh9rPxFO6EfEHo>

【動画リンク】



テーマ: KAiGO×ICT?介護は〇〇を探す仕事!?

日時: 8月6日 17:00

開催場所: Zoom

参加者数: 38名

【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO in LIVE vol.2 <山形x熊本x東京>



<https://youtu.be/Nf2FMTqfjyl?si=xBL-f0aJwUN0E88c>

【動画リンク】



テーマ: 介護は〇〇〇な場所が必ずある仕事!?

日時: 8月6日 22:00

開催場所: Zoom

参加者数: 25名

02 取り組み③: アンバサダートークシリーズ イベント詳細

【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO in LIVE vol.3 <北海道x長崎x兵庫>



<https://youtu.be/h3skMWH8dMM?si=FCVvp8wz30n53J51>

【動画リンク】



テーマ: あなたの〇〇が誰かを救う術になる !?

日時: 10月18日 21:00

開催場所: YouTube Live

参加者数: 166名

【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO in LIVE vol.4 <福島x愛知x広島>



<https://youtu.be/YVaRfC04Mho?si=qNN3J4YbXiR8YpcE>

【動画リンク】



テーマ: 自分が〇〇なものを守るための仕事 !?

日時: 11月10日 21:00

開催場所: YouTube Live

参加者数: 118名

02 取り組み③: アンバサダートークシリーズ イベント詳細

【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO in LIVE
vol.5 <長野x奈良x福岡>



<https://youtu.be/1nuuxZDmEcE?si=7jx4qv2AJJFrXD2V>

テーマ: 知識があるからこそ伝わった愛がある

日時: 12月19日 21:00

開催場所: YouTube Live

参加者数: 36名

【動画リンク】



【KAiGO PRiDE】The VOiCE of KAiGO in LIVE
vol.7 <北海道x群馬x香川>



<https://youtu.be/4tefZMbWWZQ?si=WYrp6cl0tMISf4y5>

テーマ: 今、次世代に伝えたい介護の魅力とは

日時: 2月22日

開催場所: YouTube Live

参加者数: 15名

【動画リンク】



02 取り組み③:アンバサダートークシリーズ イベント詳細

【KAiGO PRiDE】The VOICE of KAiGO in LIVE vol.6 <災害下の介護職>

The VOICE of KAiGO in LIVE vol.6

特別企画「災害下の介護職」

KAiGO
PRiDE

<https://youtu.be/7as1LZaAn3Q?si=Xq7bqelp2-5ACGQW>

テーマ: 特別企画「災害下の介護職」

日時: 1月18日 19:00

開催場所: YouTube Live

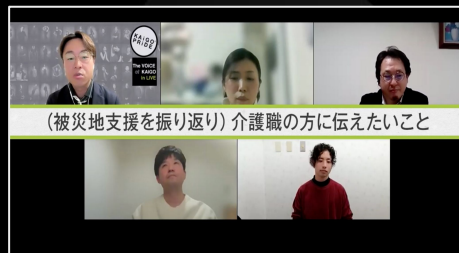
参加者数: 210名

Vol.6となる今回は特別版として令和 6年能登半島地震で災害対応を行なった介護職たちへインタビュー。

多くの反響をいただいたため、再編集版を待たずにライブ配信そのままの様子をお送りしておりましたが、改めて編集版となる本動画を公開しました。



(被災地支援を行う中で) 最も印象に残った場面

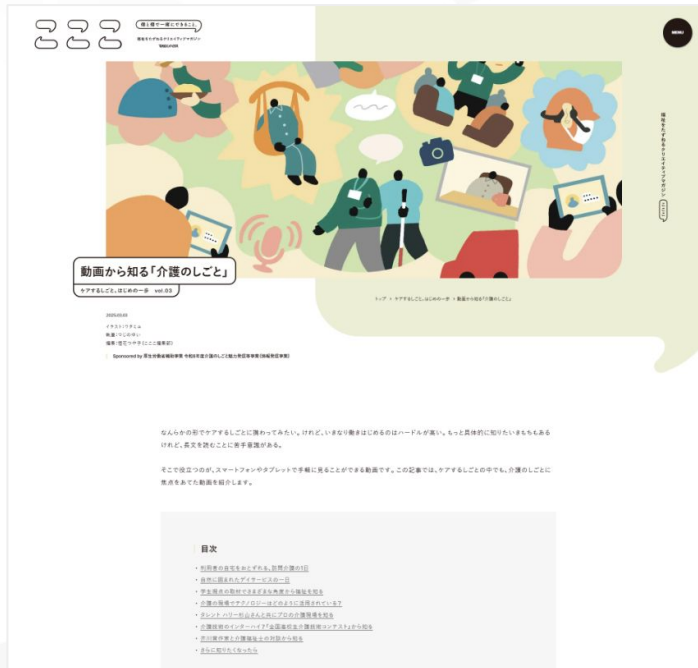


(被災地支援を振り返り) 介護職の方に伝えたいこと

【動画リンク】



株式会社マガジンハウス 様



芥川賞作家と介護福祉士の対談から知る

一般社団法人KAIGO PRIDEがYouTubeで公開している動画シリーズ「The VOICE of PRIDE」は、介護職と賞賛のプロ同士の対談企画です。仕事への誇りと魅力を語るシリーズVol.1は、「スクラップ・アンド・ビルド」で芥川賞を受賞した小説家・羽田圭介さんと、東京駅内の特別介護老人ホームで施設長を務める介護福祉士・伊藤佳祐さんのお話しています。



The VOICE of PRIDE vol.3 小説家・羽山圭介 X 合體雑誌「」-音楽雑誌

羽田さんは小説を書く中で介成様持士に取材した模様を振り返り、なぜ介成に興味を持ったのかを語って過っています。また、異なる最終に
 乃を置ながら恋に介成のしごとの“やりがい”についても語り、それぞれの交差点となる部分も語られています。

さらに知りたくなったら

今回紹介した映画は、あくまで一形態であり、深くみると興味深い情報が多く出てきます。一方で深く読みたいと思えば、いつまでも探求することが出来るのが『介良のしごと』です。深く読めて疲れてしまう前に、思い切って感情に身を任せてみるのがいいかもしれません。

【掲載箇所】

- The VOiCE of PRiDE 掲載



・介護の現場は？ 割合で？ 王山で？ フルタイム？ スキーマ訪問？ 資格は？ さん、自分を表現できる環境で働く、新しい介護のカタチ。

[illegible]

02 取り組み③:アンバサダートークシリーズ 視聴コメント

	The VOICE of Kaigo in LIVE 視聴者のコメント
vol.3	あなたの辛かったことが誰かの癒しになるって最高の言葉 これしかないやろっ
	業界いきますっ!!!
	ケアっていい言葉だなと思う
	みてる方も楽しかったです。ありがとうございます
	寄り添う。笑い=幸せ。楽しむ。素敵な言葉です
vol.4	介護の魅力を言語化出来る人の量産が、世間の介護への見方を変える 介護PRIDEはその手助けをしてくれると信じています!!
	ケアって尊い。だからケアする人もまた尊い
	介護の仕事、ひとりひとり価値観が違って、一括りにしてほしくない素敵な仕事ですね。ありがとうございます
vol.5	教育現場に広がったらいいな～ケアという仕事の尊さ
	テクノロジーが発達する一方で、介護業界のテクノロジー導入の遅れ?抵抗?を感じています。まだまだ、導入することに拒否反応をおこす方も多いですね。3人の話を聞いて、生産性と寄り添うケアは両極端なようで繋がっているんだなと感じてます。
災害下の介護職	私は能登町と輪島市の被災施設に支援に行きました。避難所の支援についても知りたかったので、とても勉強になりました。貴重なお話をありがとうございます。第2弾、第3弾、楽しみにしております。

02 取り組み④:プロフェッショナルトークシリーズ

実施概要

「プロフェッショナルトークシリーズ」は、介護職と様々な業界のプロフェッショナルが集い、静かで落ち着いた大人な雰囲気に対談を展開し、その様子を動画コンテンツとして編集・配信する企画である。この対話を通じて、介護職の深いプロフェッショナルリズムを浮き彫りにし、異業種からの新鮮な視点で介護の仕事を再発見する。異業種のプロフェッショナルがインタビュアーとなり、介護職の日々の挑戦、成果、仕事への情熱を深掘りしていく。

実施の目的

- 異業種プロフェッショナルとの対話を通じて、介護職の多面的な魅力を伝える
- 異なる職業間の共感と学びを促進し、相互理解を深める
- 介護ではない別の入り口を設けることで、無関心層へアプローチする

実施内容

タイトル: THE VOiCE of PRiDE

プロフェッショナルの二人が、お互いの仕事を尊重し合いながら語る企画。

介護の仕事に負けなくらい職業意識の高い異業種のプロフェッショナルに、介護の話を聞いてもらい驚きや共感を感じてもらいつつ、それが転じて介護という仕事への誇りと社会的評価の向上に繋げていく。

一般的に「カッコいい」と思われる職業と比較した時に見落とされがちな介護職の深い価値と魅力を再発見し、社会に伝える。異業種のプロフェッショナルが介護職の深いプロフェッショナルリズムを掘り下げることで、介護職の持つ本質的な「かっこよさ」を浮き彫りにする。演出としては、静かな大人な雰囲気のある場所での初対面の対談形式。カジュアルでありながらも、深い内容に触れる対話を目指す。様々な背景を持つプロフェッショナルを招き、彼らがインタビュアーになる 1対1の対話を行う。30分程度に編集したのち配信。The VOiCE of PRiDEは、介護のプロと異業種のプロによる対談から出てくるプロフェッショナルリズムを通して、その仕事への誇りと魅力を描き出すコンテンツ。

THE VOICE of PRIDE vol.1



【動画概要】

vol.1では、小説家の羽田圭介さんと介護福祉士の藤巻佳祐さんが対談、お互いの仕事の魅力ややりがいについて語った。

羽田さんは祖母の介護経験や小説の取材を通じて福祉に触れてきた。一方、藤巻さんは家族の介護をきっかけに福祉の道へ進み、気づけば18年間従事。認知症の入居者に名前を覚えてもらえた喜びが仕事のやりがいになっていると語る。その話に羽田さんは「小説になりそう」と興味を示す。藤巻さんは現在、職員が誇りややりがいを持てる環境づくりに尽力。羽田さんも、自分の思い描いたものを正確に描写できたときにやりがいを感じると語り、二人は仕事の共通点を見出す。

【出演者】

羽田圭介さん(小説家)

17歳の2003年に「黒冷水」で文藝賞を受賞。2015年に「スクラップ・アンド・ビルド」で芥川賞を受賞した。

https://x.com/hada_keisuke

藤巻佳祐さん(介護福祉士)

東京都内の特別養護老人ホームで施設長を務める。日本全国で介護の魅力発信に精力的に関わり、自分の声で自分の仕事の魅力を語る「KAIGO PRIDEアンバサダー」でもある。

<https://www.foryou.or.jp/corp1/tsurum>

【動画リンク】



THE VOICE of PRIDE vol.2



【動画概要】

vol.2では、科学分野から介護職に転職した上地智枝さんと、ペット業界に携わる松本秀樹さんが、それぞれの経験や仕事への想いを語り、介護やペット防災の重要性を訴えている。

科学の仕事から転職し、偶然のきっかけで介護職に就いた上地さんは、認知症ケアに魅力を感じ、分析力を活かして仕事に取り組んでいる。一方、タレントとして活動していた松本さんは、犬への興味からペットトレーナーや防災士の資格を取得し、ペット同行避難の啓発に尽力。二人は、介護やペットと人との関係の深さについて語り、命への責任や社会課題への取組の重要性を強調している。

【出演者】

松本秀樹さん(ドッグトレーナー・防災士)

元々は吉本興業や浅井企画に所属し、お笑いコンビとして活動。犬のまさお君と全国を旅するバラエティ番組に出演しブレイク。

上地智枝さん(介護福祉士)

介護福祉士であり、外国人介護人材育成などにも携わる。自分の声で自分の仕事の魅力を語れる "KAIGO PRIDEアンバサダー" でもある。



【動画リンク】



THE VOICE of PRIDE vol.3



【動画概要】

vol.3では、ジャーナリスト安藤優子さんと介護福祉士宗像有美さんが対談し、介護の重要性や自身の経験について語る。

安藤さんは、両親の介護を通じて現場の大変さを実感し、介護福祉士への感謝を伝える。宗像さんは、母親が創業した会社を継ぐ形で業界に入り、当初は別の仕事をしていたが、子育てを機に介護の道へ進んだと語る。介護の仕事は「生きていてよかった」と言われるほど人の人生に深く関わるやりがいのある仕事だと強調。お互いの経験を通じて、介護の現場や支援の大切さが改めて浮き彫りとなる。

【出演者】

安藤優子さん(ジャーナリスト)

長年ニュース番組のキャスターとして取材や放送を手掛ける。

1986年に「ギャラクシー賞個人奨励賞」を受賞。

<https://www.instagram.com/yukoando020...>

宗像有美さん(介護福祉士)

福島県郡山市出身。高校卒業後にニューヨーク州の短期大学へ留学。現在は母親が企業した「有限会社お花畑」にて代表を務める。日本全国で介護の魅力発信に精力的に関わり、自分の声で自分の仕事 事の魅力を語る “KAIGO PRIDEアンバサダー”でもある。

<https://ohana-batake.net/>

【動画リンク】



THE VOiCE of PRiDE vol.4



【動画概要】

vol.4では、バイオリニスト・川井郁子さんと介護士・阿部匡秀さんの対談、お互いの仕事の魅力や人に寄り添うことの大切さについて語った。阿部さんは高校時代に祖母の介護を通じて介護職に興味を持ち、専門学校を経て現在まで16年以上従事。介護の難しさは人それぞれ異なる価値観への寄り添いにあり、正解がない仕事だからこそ柔軟性が求められると語る。一方、川井さんは6歳の頃ラジオで聴いたバイオリンに感動し、演奏活動を開始。音楽を通じて難民の子供たちが踊り出す姿を見て、音楽の持つ力を再認識。二人はそれぞれの道で「人に寄り添う」ことの大切さを共有している。

【出演者】

川井郁子さん(バイオリニスト)

ニューヨークやパリでの公演など国内外で活躍。作曲も手がけ2013年に「日本アカデミー賞最優秀音楽賞」を受賞。
<https://www.ikukokawai.com/>

阿部匡秀さん(介護福祉士)

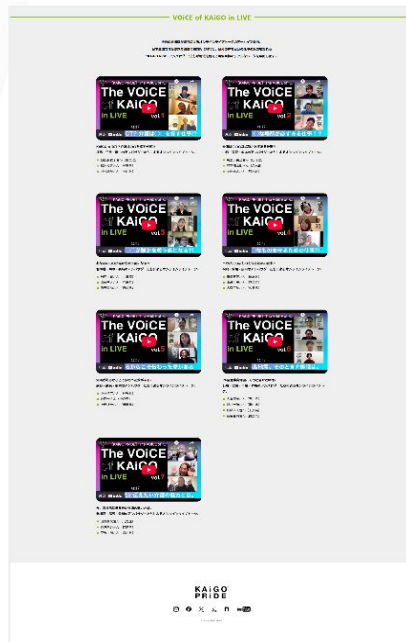
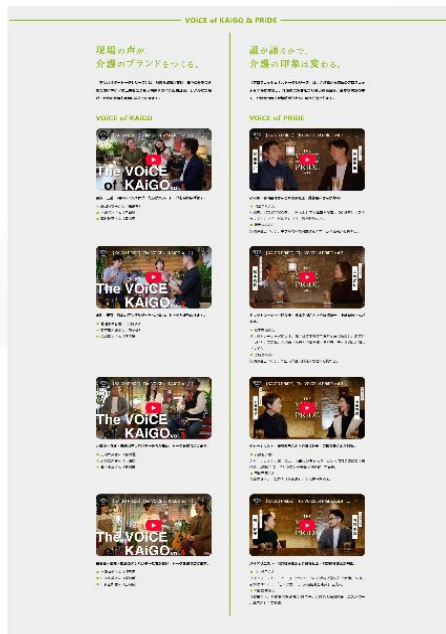
北海道札幌市出身。介護実習指導者 / 介護主任。介護老人保険施設「エスポワール北広島」にて勤務。

【動画リンク】



02 +αのアクション:まとめサイトの作成

取り組み②～④で報告した Kaigo PRiDEアンバサダーのすべての活動を見ることができるまとめサイトを作成
本事業の取り組みのさらなる認知拡大を狙い、今後もこのサイトを発信活動の基盤とすることが可能



【サイトリンク】



03

事業連携の取り組み

03 事業連携の取り組み／全体概要

1 事業連携会議計3回の参加

連携会議に積極的に参加することで、本事業の取り組みを共有しさらなる発展を目指した。

2 情報発信での連携

情報発信事業を行う事業者へ本事業での取り組みを積極的に共有し、露出面を増やすことができた。

- 楽天グループ株式会社 様
ポータルサイト「知る。わかる。介護のしごと」
- 株式会社マガジンハウス 様
「こここ」(<https://co-coco.jp/series/caresurushigoto-firststep/movie/>)
- 株式会社朝日新聞社 様
朝日中高生新聞 3月2日号 ／ 朝日小学生新聞 3月2日号



03 事業間連携会議参加／全体概要

目的

事業間連携等事業の実施主体が開催する「事業間連携会議」及び介護の仕事のイメージアップに対する機運を高めることを目的に都道府県事業の関係者等を含めた会議・イベントに参画すること。

各会議での発表内容

1回目概要

令和6年8月14日開催。介護職自身が、自らの言葉で介護の魅力や誇りを発信していくことを軸とした情報発信の方針が共有された。アンバサダーの育成やトークシリーズに加え、育成された介護職が自治体や関係団体と連携し、現場の声を直接伝える発信活動の展開も紹介された。参加団体からはこうした発信の在り方への共感が寄せられ、特にアンバサダーの存在や活用に対して関心の高さがうかがえた。

2回目概要

令和6年12月3日開催。介護職自身による魅力発信の進捗や、アンバサダーの活用事例、今後の展開について報告を行った。能登半島地震の被災地に派遣された介護職の声を届ける新たな座談会企画も紹介され、発信の対象や文脈の広がりが共有された。参加団体からは、若年層へのアプローチや採用活動での活用に向けた意見が寄せられたほか、ロゴや共通ハッシュタグの活用によって、情報発信における統一感と連携を強化する提案も行われた。

3回目概要

令和7年2月5日開催。事業の成果や発信の広がりが共有され、アンバサダーによる情報発信が各地で進展していることが報告された。災害下での実践を伝える座談会の開催についても紹介され、介護職の言葉が新たな形で社会に届き始めている状況が共有された。教育・採用現場での活用や、団体内での認知拡大・対話の広がりについても意見が交わされ、YouTube配信における広告支援の効果も報告された。連携の実感と次年度への期待が高まる内容となった。

発表 内容

令和6年度より「介護職発信事業」の新設について

介護職自身が自らの言葉で介護の魅力や誇りを語ることを軸とした、今年度の事業内容について報告した。まず「アンバサダーの育成」(取り組み①)では、介護職が自身の仕事に対する想いや誇り、魅力を言語化し、それを発信できるようになることを目指していることを紹介。続いて、育成されたアンバサダーが学校や地域イベント、行政・業界団体などと連携しながら発信活動を行う「アンバサダーによる連携発信活動」(取り組み②)について説明した。さらに、アンバサダー同士が自由に語り合う様子を映像化した「アンバサダートークシリーズ」(取り組み③)や、異業種の専門職と介護職が対談する「プロフェッショナルトークシリーズ」(取り組み④)も展開予定であり、それぞれのねらいや展開方法についても触れた。また、進路選択における保護者の影響、いわゆる「親ブロック」への課題にも言及し、若者本人だけでなく保護者にも届く発信の必要性が示された。加えて、発信の広がり高めるための工夫として、SNSなどで情報発信する際に共通の「ハッシュタグ」を活用することが提案された。これは企画委員からの意見をもとに、理事の小口より本会議で全体に対して提案されたものであり、連携を促進し、発信の一体感を生む手法として検討されている。

03 事業間連携会議／1回目詳細

開催情報

日時： 令和6年8月14日(月) 13:00-16:00

場所： PwC大手町オフィスおよびオンライン(Google meet)

出席者： 事業実施主体、業界団体、職能団体、厚生労働省、事業企画委員、都道府県代表など

会議の目的

- 事業実施主体の進捗状況の共有
- 業界団体や関係者との意見交換
- 介護の魅力発信に向けた連携強化

議題

1. 開会・資料確認・会議趣旨説明
2. 出席者紹介
3. 各事業実施主体の事業進捗報告及び他の出席者への協力依頼
4. 「介護の仕事に関するアンケート調査」情報共有
5. 事業統一ロゴの検討
6. 事務連絡／閉会

発表 内容

アンバサダー活動の成果報告について

事業の進捗状況について報告を行い、アンバサダーによる魅力発信の展開や、コンテンツ制作の状況、関係団体との連携について共有した。あわせて、令和 7年1月に開催予定の座談会についても紹介。能登半島地震で被災地に派遣された介護職の経験や想いを語る内容で、「アンバサダートークシリーズ」としてライブ配信とアーカイブ配信を予定している。小口がモデレーターを務め、登壇者にはアンバサダーに加え、各団体から推薦のあった職員も含まれる予定であることが伝えられた。また、参加団体からは「介護の魅力の言語化」がマネジメントにも活かせるとの声が寄せられ、現場のリーダーや面接官にとっても重要な視点であることが共有された。アンバサダーの活用が自団体でも進んでいるとの報告もあり、発信が波及している。加えて、ロゴや共通ハッシュタグの活用に関する提案もあり、今後の展開に向けて活発な意見交換が行われた。

共通ハッシュタグについては、第 1回事業間連携会議において理事・小口より全体提案があり、その後、連携事業者を対象に案の募集を実施。選定の結果、「 #介護のしごと」が共通ハッシュタグとして決定され、今回の第2回会議にて正式に周知された。



活動の全体概要①

4つの取り組みにより、自らの声で魅力発信できるアンパサダーを育成し
介護職の誇りを広く届けるコンテンツを創出していく！

魅力発信人材
の育成と活躍

取り組み①：発信できる介護職（アンパサダー）の育成

全国で本取り組みに賛同する現役介護職を募り、発信に関わる研修を行うことで自らの声で発信できる介護職として「KAIGO PRIDEアンパサダー」を育成、認定する。

取り組み②：発信できる介護職（アンパサダー）による連携発信活動

取り組み①で養成されたアンパサダーは、本事業における他の情報発信事業とも連携し、必要に応じてイベントやコンテンツの制作に協力する。また、各地方自治体や関係団体によって実施される介護の魅力発信に資する事業へも協力する。

魅力発信人材を
核とした発信機
会とコンテンツ
の創出

取り組み③：アンパサダートークシリーズ

全国のアンパサダー3～4名が実際に働く、他の団体の介護に関するトークを繰り広げる様子を商品豊かな映像に録画して録画コンテンツとして制作し配信する。また、同じく全国のアンパサダーが3～4名がオンライン上でトークを行い、その様子をWebライブ配信または動画コンテンツとして制作し、配信する。

取り組み④：プロフェッショナルトークシリーズ

アンパサダーと職業種のプロフェッショナルが対話し、プロ同士だから見えてくる職業意識の高さや職業を志した人達に学ぶ姿を捉えることで、介護の仕事の魅力がよりいっそう伝わる映像コンテンツを制作し、配信する。

活動の全体概要②

取り組み①：アンパサダーの育成

介護職が自らの声で発信する技術を学ぶワークショップ、介護職の内なる誇りを言語化し、他に共有するマインドセットを学ぶ。

行政・業界と一緒に
発信していく

取り組み②：
アンパサダーによる連携発信活動
行政や団体と連携して発信活動を行
うプラットフォーム

業界内の人たちから
発信していく

取り組み③：
アンパサダートークシリーズ
アンパサダー同士がトークする
プラットフォームとコンテンツ

業界外の人たちとも
発信していく

取り組み④：
プロフェッショナルトークシリーズ
介護のプロと職業種のプロが
トークするコンテンツ

提供されるコンテンツの例



情報発信事業者や自治体との連携発信

アンパサダーの育成 概要

取り組み①：発信できる介護職（アンパサダー）の育成

■企画背景および取組内容

「アンパサダー」の育成は、現役介護職を対象とした全国規模のワークショップです。参加者が情報発信スキルを磨き、介護の魅力や重宝性を社会に伝えるアンパサダーとして活躍することを目指します。集中研修を通じて、介護職としての誇りを高める自己認識を深め、仲間とともに介護の魅力を言語化し共有する機会を提供しました。

■ターゲット層

- ・情報発信スキル向上を目指す現役介護職
- ・自施設のPRや職員育成に関心のある管理職層

■実施期間

2024年8月～9月

■リーチ方法

厚生労働省や自治体、介護福祉士会等との関連団体を通じた事業を実施し、定期的にDMや自社メディア活用で告知。

■アウトプット

情報発信ノウハウの理解向上：61.4ポイント上昇
情報発信意欲の向上：6.9ポイント上昇
仕事への誇りの向上：3.9ポイント上昇
仕事への満足度：10.8ポイント上昇

参加者数：135名（目標100名）

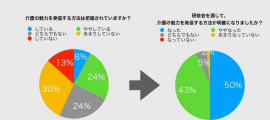
賛成の2倍の応募があり、現地参加できなかった方向けに12月にオンライン研修を実施予定

■アウトカム

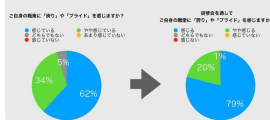
参加者の声
「他の施設の意見を聞いて刺激を受けた」
「自分の中の課題や介護の魅力が再発見できた」
「発信スキルの実践的学びが得られた」
など、多くのポジティブな意見が寄せられました。

アウトカム：参加者へのアンケート結果

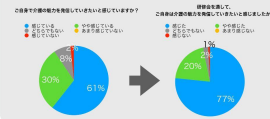
情報発信ノウハウの理解向上：61.4ポイント上昇



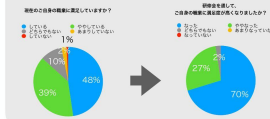
仕事への誇りの向上：3.9ポイント上昇



情報発信意欲の向上：6.9ポイント上昇



仕事に対する満足度の向上：10.8ポイント上昇

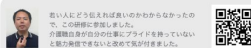


03 事業間連携会議／2回目発表資料

アウトカム：アンパサダーの声



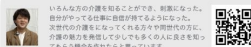
研修に参加して楽しかった。改めて介護の魅力を感知
られて、モチベーションが上がりました。



若い人にとどまれば若いのがわからなかったの
で、この研修に参加しました。
介護職自身が自分の仕事にプライドを持っていない
と驚かされたので改めて学びました。



自分のやってきた事は間違いないやだなと感じる
事ができる研修でした。



いろんな方の介護を知ることができ、刺激になった。
他者がやる仕事に自分が誇れるようになった。
次世代の介護士になっていけるよう努力したい。この
介護の魅力を発信して少しでも多くの人に共感をもち
てもらう機会を得られたらと思っています。



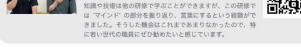
若いものがある。介護ってもっと面白い。職場で頑張っている場
所ではない。
自分ももっと働いてこうやって見える。そうすると利用者さんも
自分もやりやすくなる。ということが学べる研修でした。



これから介護になる方や介護に関心している方たちに、介護
の魅力を伝えられればうれしいアンパサダーになっていきたいな
いと思っています。



介護のネガティブな面を私試して、こんなに
楽しい仕事はないんだとちょっともっ
と伝えたいです。



私たちは習得している介護職の研修とは少し異なる印象を
受けたと思います。新しい発見も多くありましたし、研修者
の皆さんが抱いていることや考えていることが、この研修に
届いていないのではないかと感じています。

QRコードからコメント欄がご覧いただけます



関東会場 20名 東北会場 13名 中部会場 19名
関西会場 27名 北海道会場 24名 中国四国会場 15名
九州沖縄会場 35名

取り組み②：発信できる介護職（アンパサダー）による連携発信活動

アンパサダーによる連携発信事業 概要

取り組み②：発信できる介護職（アンパサダー）による連携発信活動

■企画背景および取組内容：

「アンパサダーによる連携発信活動」は、介護の魅力を言語化し情報発
信スキルを学んだ介護職アンパサダーが、自治体や介護関連団体からの
依頼に基づき、出席講演・イベント出演・コンテンツ制作などに積極的
に参加し、介護業界の連携発信と教育的活動を担う取組です。この
活動を通じて、介護業界への理解と関心を深め、ポジティブなイメージ
を社会に広めることを目指しています。

■ターゲット層：

・現役介護職の声を活用して魅力発信や情報発信を行い自治体、
教育機関、介護業界団体、福祉事業所、一般企業

■実施期間（実績）：

2024年7月～（既存アンパサダーを起用して前向きに対応）

■リーチするための工夫：

・介護福祉士会などの関連団体経由での募集
・PwC発行「なるほどカギ」への記事掲載
・PwC実施「魅力発信サミット」での参加自治体への案内と呼びかけ
・当法人メディア（HP/SNS）を通じた告知
・アンパサダーを組合員に各自自治への働きかけ

■アウトプット

目標：
21都道府県での育成に対して、各地域3回を想定。

実績：
派遣実績 5件（人数：12人）
派遣予定 6件（人数：13人）

■アウトカム

派遣に参加したアンパサダーに対してアンケートをとり、活動を通じ
て介護の仕事への誇りアップにつながったかを評価する。
（感想の多くを踏まえてご自身の職業に対する「誇り」や「プライ
ド」は向上しましたか？）

目標：ポジティブ割合70%

現状、見込みも含めて目標派遣数の約半数であるため、残り約3ヶ月に対して依頼増加のためのアクションが必要。

アウトプット：派遣実績・予定

派遣済み

株式会社新日本福祉社 聴小・聴中両方サマースタッフ2024（東京経済大学）（7月13日）
トークショー 中国出張ツアー中

東京グループ株式会社 産業コンテンツ「高齢者のエンタテインメント」（8月7日）
取材 近藤の家（徳島さん、小沢さん、横田さん、森田さん、天崎さん）

東京グループ株式会社 動画「介護のホンネ放送」（8月7日、8月9日、8月21日）
出演 バーン代先生、徳田さん、
クアールメディア 高橋さん、
ゆうはら、くずは 栗原さん

株式会社新日本福祉社 取材用コンテンツ「おしこいぶつ」（10月21日）
出演 社会福祉法人二 二階さん

北九州府県介護協議会 介護みらい会議（11月23日）
ワークショップへの参加 上野さん、豊田さん

派遣予定

PwCコンサルティング合同会社 ヒアリング（11月13日から11月27日）
早稲田さん、上野さん、中野さん、金塚さん、山田さん、藤本さん

KAIGO PRiDE アンパサダーによる自主企画ワークショップ（11月26日）
高木さん、辻さん、加藤さん

株式会社新日本福祉社 小学校向け出張授業（12月9日）
増田さん

株式会社新日本福祉社 小学校向け出張授業（12月10日）
加藤さん

株式会社新日本福祉社 高等学校向け出張授業（12月12日）
宮崎さん

お若い世代で中
核職員が活躍する
組織づくり委員会（3月上旬）

03 事業間連携会議／2回目発表資料

アウトプット：アンバサダーによる自主イベント



特筆事項

アンバサダーが”自主的に”
トークイベントを企画・実行

自発的な内側発信のきっかけ作り
になり得た成果を感じている

※当法人の企画ではないため、派遣実績としてカウント

楽天グループ株式会社様

動画コンテンツ「介護のホンネ放送局」



パール代官山 満都さん
ケアホームカナン 馬場田さん
ゆうはいむ・くやはら 宮田さん

パール代官山での撮影の様子

取材「左利きのエレン」スピノフ漫画



藤巻さん
横塚さん
小比古さん
島原さん
天崎さん

佐倉の家 アンバサダーの皆さん

取り組み③：アンバサダートークシリーズ

株式会社朝日新聞様主催 「朝小・朝中高 サマースクール2024 at東京理科大学」 7月13日



株式会社朝日新聞様主催 教材用コンテンツ「おしこはくぶつかん」 10月21日



アンバサダートークシリーズ 概要

取り組み③：アンバサダートークシリーズ

■企画背景および取組内容：

「アンバサダートークシリーズ」は、介護業界で活躍するアンバサダーが、
介護に関する様々なテーマについて自由に話し合う動画コンテンツとライブ配信
コンテンツです。この企画は、介護の現場からのリアルな声を通じて、業界の課題
や魅力、日々の業務での心温まるエピソードや真似しなくなる介護スキルなど、
幅広い話題をカバーします。テレビ番組風のエンタメメント映像（音楽を
通した配信）コンテンツとして事前収録されたものを配信するほか、オンライン
でのライブ配信も行い視聴者との双方向コミュニケーションを図ります。

■ターゲット層：

- ・ 同業者の想いに関心があり、新たな発見を得て自身の業務に活かしたい現
役介護職（性別・年代は特定しない）
- ・ 家族の介護経験がある、又は現在介護中の40代～60代の一世代。
- ・ 出演するアンバサダーの同僚・知人・家族。

■実施期間：

2024年9月～2024年2月
ライブ配信については、6月から2月まで毎月1回計6回の実施を予定。
アーカイブについては録画後6～8年の公開を予定。
リッチコンテンツについては、11月から2月まで毎月1本計4本の公開を
予定。

■リーチするための工夫：

- ・ PwC特設行「なるほどカイゴ」への記事掲載
- ・ PwC特設「魅力発信サイト」での非営利活動への案内と呼びかけ
- ・ 当法人メディア（Q/Y/SNS）を通じた告知
- ・ アンバサダーへのLINE発信

■アウトプット

次頁参照

■アウトカム

撮影に参加した介護職および養成したアンバサダーに対してアンケートを実施し、
新たに介護の現場に関する発見に繋がる機会になり得たかを調査予定。
（想定Q：本企画または動画は自身にとって良い気づきを生み出しましたか？）

測定対象および対象者数：アンバサダー150名程度
目標：ポジティブ割合70%

03 事業間連携会議／2回目発表資料

アウトプット：実施回数および視聴回数等

■アウトプット	指標	計画・目標	実績	視聴者数・視聴回数
ライブ配信	実施回数	6回	4/6回	38人(ZOOM)
	視聴者数	各30回	第1回(8/6 17:00)	25人(ZOOM)
			第2回(8/6 22:00)	166人(YouTube Live)
			第4回(11/10 21:00)	118人(YouTube Live)
ライブアーカイブ動画	公開本数	6本	2/6本	
	視聴回数	各300回	第1回(9/30)	231回
			第2回(10/26)	140回
リッチコンテンツ	公開本数	4本	1/4本	
	視聴回数	各300回	第1回(11/11)	147回(11/23時点)

振り返り：

2回目から配信方法をYouTube Liveに変更したことで視聴者数を増加できた。

The VOiCE of KAiGO in LIVE



第1回(8/6 17:00)



第2回(8/6 22:00)



第3回(10/18 21:00)



第4回(11/10 21:00)

11月公開

12月公開

The VOiCE of KAiGO



岡山県 岡村瑞英さん
徳島県 藤田麻衣子さん
三重県 松原和文さん

11月11日公開



山形県 菊池小百合さん
熊本県 茂原悠太さん
東京都 並木祐太朗さん

12月公開予定

取り組み④：プロフェッショナルトークシリーズ

プロフェッショナルトークシリーズ 概要

取り組み④：プロフェッショナルトークシリーズ

■企画背景および取組内容：

「プロフェッショナルトークシリーズ」は、介護職と養老施設のプロフェッショナルが集まり、落ち着いた雰囲気の中で対談を行い、その様子を動画コンテンツとして配信する企画です。この対談を通じて、介護職の深いプロフェッショナルなスキルを浮き彫りにし、養老施設から新鮮な視点で介護業界を再発見することを目的としています。養老施設のブログインタビューとして、介護職の日々の活動、成長、困難を語り下していきます。

■ターゲット層：

- ・同業者の想いに関心があり、新たな発見を得て自身の業務に活かしたい現役介護職（性別・年代問わず）
- ・事業の介護経験がある、または現在介護中の40代～60代の一般層
- ・出演するアンバサダーの同僚・知人・家族
- ・養老施設のプロフェッショナルやそのファン、または業界に関心のある層

■計画期間：

2024年10月～2024年2月
11月から2月まで毎月1本、計4本の公開予定
スケジュール通り進行中

■リーチ方法：

- ・PwC発行「なるほどカイゴ」への記事掲載
- ・PwC実施「魅力発信サミット」での案内
- ・当法人メディア（HP/SNS）での告知
- ・アンバサダーへのLINE発信
- ・養老施設のネットワーク活用
- ・楽天様による広告配信支援

■アウトプット

次項参照

■アウトカム

撮影に参加した介護職および養成したアンバサダーに対してアンケートを実施し、新たに介護の仕事に就く希望する機会に繋がる機会になり得たかを評価する。
(他社で本企画または動画は自身にとって良い気づきを与えたか？)

予定対象および対象者数：アンバサダー150名程度
目標：ポジティブ割合70%

アウトプット：実施回数および視聴回数等

■アウトプット

指標	計画・目標	実績	視聴回数
公開本数	4本	1/4本	
視聴回数	各2000回	第1回(11/11)	383回(11/23時点)
チャンネル登録数			

振り返り：

撮影・公開は予定通り実施できる見込み
また1本目の公開から日が経く、養老施設プロからの告知等も未実施
現在楽天様連携としての広告支援も開始しており視聴回数の増加について注視中

03 事業間連携会議／2回目発表資料

The VOiCE of PRiDE



The VOICE of PRIDE vol.1

小説家・羽田圭介 X 介護福祉士・藤巻佳祐

11月11日公開





The VOICE of PRIDE vol.2

ドッグアドバイザー・松本秀樹 X 介護福祉士・上地智枝

12月公開予定

ご参加者様への依頼事項

皆様に協力いただきたいこと

- 1 アンバサダーの活用
教育機関や企業への出前講座、イベント出演、コンテンツ出演など
- 2 アンバサダーが出演したコンテンツの活用
イベント・研修会での映像の活用、広報協力など

ご依頼・ご相談はKAIGO PRiDEホームページの問い合わせフォームか下記メールまでお願いします。

jimukyoku@kaigopride.jp



◀公式ホームページ

03 事業関連会議／3回目詳細①

開催情報

日時: 令和7年2月5日(水) 16:00-19:00
場所: PwC大手町オフィスおよびオンライン(Teams)

会議の目的

- 令和6年度「介護のしごと魅力発信等事業」進捗報告
- 各事業実施主体の成果共有
- 次年度事業への意見交換

議題

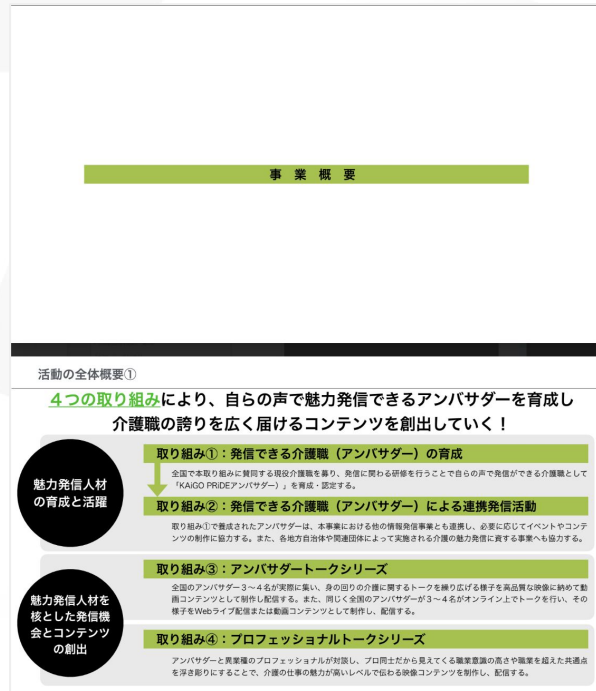
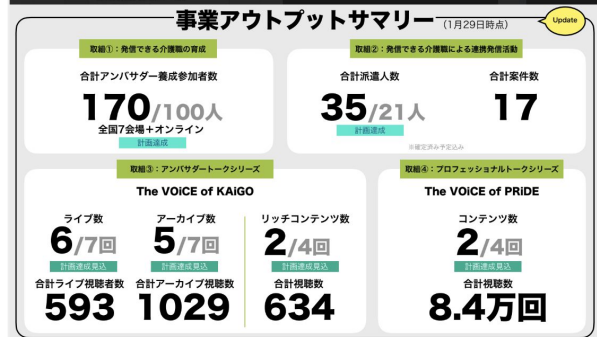
1. 開会・資料確認・会議趣旨説明
2. 開会挨拶 (厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 吉田室長)
3. 出席者紹介
4. 各事業実施主体の事業進捗報告及び他の出席者への協力依頼 ーコンテンツ共有／意見・質問
5. 意見交換 (本年度の成果および次年度への期待)
6. 事務連絡／閉会

発表 内容

令和6年度 介護職発信事業 成果報告

今年度の活動とその成果について報告を行った。アンバサダーによる発信は、地域や関係団体との連携のもと、現場ごとの工夫を活かしながら実践が進められてきた。また、能登半島地震で被災地に派遣された介護職の声を届ける座談会をライブ配信にて実施し、災害下における発信の重要性と可能性についても示した。教育や採用の場面での活用についても意見があり、介護福祉士会様の青年部内でアンバサダーに関する話題が共有されていることや、他の団体様においてもアンバサダーの活用が進んでいることが紹介された。YouTube配信では、楽天グループ株式会社様の広告支援により再生数が大きく伸びたことが共有され、今後の効果的な訴求手法としても期待されている。次年度に向けては、地域に根ざした発信の展開と、発信を担う人材の育成、関係団体との連携強化が求められている。

03 事業間連携会議／3回目発表資料



全国で150名以上を養成！

03 事業間連携会議／3回目発表資料



関東会場 20名 東北会場 13名 中部会場 19名
関西会場 27名 北海道会場 24名 中国四国会場 15名
九州沖縄会場 35名

取り組み②：発信できる介護職（アンバサダー）による連携発信活動

アンバサダーによる連携発信事業 概要

取り組み②：発信できる介護職（アンバサダー）による連携発信活動

■企画背景および取組内容：

「アンバサダーによる連携発信活動」は、介護の魅力を言語化し情報発信スキルを学んだ介護職アンバサダーが、自治体や介護関連団体からの依頼に基づき、公開講座・イベント出演・コンテンツ制作などに積極的に参加し、介護業界の情報発信と教育の活動を担う取り組みです。この活動を通じて、介護業界への理解と関心を深め、ポジティブなイメージを社会に広めることを目指しています。

■ターゲット層：

・現役介護職の声を活用して魅力発信や情報発信を行い自治体、教育機関、介護業界団体、福祉事業所、一般企業

■アウトプット

目標：21自治体7地域での育成に対して、各地域3回を想定。

実績：

派遣実績 14件（人数：30人）
派遣予定 3件（人数：6人）

Update

■実施期間（実績）：

2024年7月～（既存アンバサダーを活用して前倒しで対応）

■リーチするための工夫：

- ・介護福祉士などの介護関連団体からの依頼
- ・PwC推進行「なまほカイズ」への記事掲載
- ・PwC推進「魅力発信サミット」での参加自治体への案内と呼びかけ
- ・当法人メディア（HP/SNS）を通じた告知
- ・アンバサダーを抽出した各自治体への働きかけ

■アウトカム

派遣に参加したアンバサダーに対してアンケートをとり、活動を通じて介護の仕事への誇りアップにつながったかを評価する。
（想定Q.本活動を通じてご自身の職業に対する「誇り」や「プライド」は向上しましたか？）

目標：ポジティブ割合70%

アンバサダー自身の「売り込み」による出前講座が実現するなど「真の内製発信スキーム」が動き出しています。

アウトプット：派遣実績・予定

Update

連携

「都小・都中」サマースクール2024 at 東京理科大学 トークショーへの出演（7月13日） ソウさん
「左利きのエレノ」スピンオフ漫画取材（8月7日）藤谷さん、小松木さん、藤原さん、天崎さん
「介護のホンネ放送局」出演（8月7日、9日、21日）渡部さん、馬場田さん、宮田さん
「小学生向け、デジタル教材」出演（10月21日）二橋さん
「介護職アソビ」11月 厚城さん、上野さん、金城さん、畠山さん、藤木さん
「鎌倉区立高松小学校」出張授業（12月9日）塚越さん
「千葉市立真砂西小学校」出張授業（12月10日）加藤さん
「香川県立高松南高等学校」出張授業（12月12日）空野さん
「学校法人名進研学園 名進研小学校」出張授業（11月27日）山崎さん
「姫路市立夢前中学校」出張授業（2月3日）渡永さん

自治体・団体

北九州市介護保健課「第1回 介護みらい会議」（11月23日）西上さん、豊田さん
北海道札幌市厚別区（定時制）「職業人講話」出前講座（2月4日）関口さん、木端さん、中川さん
新潟県社会福祉協議会 新潟県福祉人材センター「福祉のしごと就職フェア」セミナー講師（3月8日予定）並木さん

自主企画

Instagramでのライブ配信（11月26日）渡永さん、辻さん、西村さん
長崎ヴェルカの社会活動「VELCARES」イベント「B-RAVE ONE」（1月4日）大串さん
小規模多機能ホームふきのとう「運営推進会議」地域への発表（1月25日）関口さん、木端さん、中川さん
Instagramでのライブ配信（1月30日）渡永さん、辻さん、西村さん

アンバサダーによる連携発信事業

Update

出張授業



12/9 鎌倉区立高松小学校 塚越さん



12/10 千葉市立真砂西小学校 加藤さん



12/12 香川県立高松南高等学校 空野さん



1/27 名進研小学校（愛知県） 山崎さん

アンバサダーによる連携発信事業

Update

自主企画 北海道



小規模多機能ホームふきのとうのよう

参加された市内から札幌市議員がFacebookに投稿

長崎



長崎市のプロバスクワーターチーム「長崎ヴェルカ」が、地域連携活動「VELCARES（ヴェルカアス）」の一環として、2025年1月3日～5日に開催された「B-RAVE ONE（ビーレイブワン）」に参加し、ハジメキヤップを披露する人形ロボット「ホムカ」を通じて認知症予防を啓発するもので、1月4日のイベント内でブースを出展し、介護の魅力発信や市民社会に貢献するコンテンツを開発しました。

アンパサダーによる連携発信事業

Update

就職フェアでのセミナー（新潟）



「福祉のしごと就職フェアin新潟」にて「福祉介護の魅力を伝えるセミナー」3回「業界のあそびろば」でセミナー講師としてアンパサダーの皆さんが活躍

取り組み③：アンパサダートークシリーズ

アンパサダートークシリーズ 概要

取り組み③：アンパサダートークシリーズ

■企画背景および取組内容：

「アンパサダートークシリーズ」は、介護業界で活躍するアンパサダーが集い、介護に関する様々なテーマについて自由に話し合う動画コンテンツとライブ配信コンテンツです。この企画は、介護の現場からのリアルな声を通じて、業界の課題や魅力、日々の業務での心遣いあるエピソードや真似したくなる介護スキルなど、幅広い話題をカバーします。テレビ番組風のエディタメント映像（効果音を通じた教育）コンテンツとして事前収録されたものを配信するほか、オンラインでのライブ配信も行い視聴者との双方向コミュニケーションを図ります。

■ターゲット層：

- ・同業者の想いに関心があり、新たな発見を得て自身の業務に活かしたい現役介護職（性別・年代は特定しない）
- ・実際の介護現場がある、又は現在介護中のO4代～60代の一般層。
- ・出演するアンパサダーの同僚・知人・家族。

■アウトカム

次掲参照

■実施期間：

2024年9月～2024年2月
ライブ配信については、8月から2月まで毎月1回計6回の実施を予定。
アーカイブについては編集後に6本の公開を予定。
リッチコンテンツについては、11月から2月まで毎月1本計4本の公開を予定。

■リッチするための工夫：

- ・PwC発行「なるほどカイゴ」への記事掲載
- ・PwC様実施「魅力発信サミット」での参加自治体への案内と呼びかけ
- ・当法人メディア（SNS）を通じた告知
- ・アンパサダーへのLINE発信

■アウトカム

撮影に参加した介護および要介護したアンパサダーに対してアンケートを実施し、新たに介護の仕事に関する情報に触れる機会になり得たかを評価予定。
（想定Q：本企画または動画は自身にとって良い気づきを与えましたか？）

想定対象および対象者数：アンパサダー150名程度
目標：ポジティブ割合70%

アウトプット：実施回数および視聴回数等

Update

■アウトプット

	指標	計画・目標	実績	視聴者数・視聴回数
ライブ配信	実施回数	6回	6/6回	
	視聴者数	各30人	第1回(8/6 17:00)	38人(ZOOM)
			第2回(8/6 22:00)	25人(ZOOM)
			第3回(10/18 21:00)	166人(YouTube Live)
			第4回(11/10 21:00)	118人(YouTube Live)
			第5回(12/19 21:00)	36人(YouTube Live)
ライブアーカイブ動画	公開本数	6本	5/6本	
	視聴回数	各300回	第1回(9/30)	231回
			第2回(10/26)	140回
			第3回(11/28)	142回
			第4回(12/18)	215回
			第5回(1/23)	83回
リッチコンテンツ	公開本数	4本	2/4本	
	視聴回数	各300回	第1回(11/11)	367回
			第2回(12/25)	267回

(1/30時点)

The VOICE of Kaigo in LIVE



第1回(8/6 17:00)



第2回(8/6 22:00)



第3回(10/18 21:00)



第4回(11/10 21:00)



The VOICE of Kaigo in LIVE

Update



第5回(1/18 19:00)



能登半島地震発災後約1年の節目に特別企画「災害下の介護職」として実際に被災地への派遣対応にあたられた介護職に登場いただき、当時の想いを語っていただきました。

The VOICE of Kaigo



岡山県 岡村瑞葵さん
福島県 藤田麻衣子さん
三重県 松原和之さん



11月公開



山形県 菊池小百合さん
栃木県 茂原佑太さん
東京都 並木祐太郎さん



12月公開

The VOICE of Kaigo

Update



北海道 丹内 大貴さん
長崎県 眞弓 愛加さん
兵庫県 瀬永 啓太さん

1月公開



愛知県 山崎 朱美さん
福岡県 宗像 有美さん
広島県 古森 正和さん

2月公開

取り組み④：プロフェッショナルトークシリーズ

プロフェッショナルトークシリーズ 概要

取り組み④：プロフェッショナルトークシリーズ

■企画背景および取組内容：

「プロフェッショナルトークシリーズ」は、介護職と異業種のプロフェッショナルが集まり、互に新しい知識や対話を生み、その機軸を動画コンテンツとして配信する企画です。この対話を通じて、介護職の深いプロフェッショナリズムを生き動かし、異業種から新鮮な視点で介護業界を再発見するを目的としています。異業種から新鮮な視点で介護職の日々の挑戦、成長、情熱を語り上げていきます。

■ターゲット層：

- ・同業種の想いに共感があり、新たな発見を得て自身の業務に活かしたい現役介護職（性別・年代問わず）
- ・家族の介護経験がある、または現在介護中の40代～60代の一般層
- ・出演するアンバサダーの俳優・知人・家族
- ・異業種のプロフェッショナルやそのファン、または業界に関心のある層

■計画期間：

2024年10月～2024年2月
11月から2月まで毎月1本、計4本の公開予定
スケジュール通り進行中

■リーチ方法：

- ・PwC発行「なほほどカゴ」への記事掲載
- ・PwC実施「魅力発信サミット」での案内
- ・施設入居メディア（npy JDS）での告知
- ・アンバサダーへのLINE発信
- ・異業種プロのネットワーク活用
- ・実業による広告配信支援

■アウトプット

次項参照

■アウトカム

撮影に参加した介護職および養成したアンバサダーに対してアンケートを実施し、新たに介護の仕事に関する情報に触れる機会になり得たかを評価予定。
（想定Q: 本企画または動画は自身にとって良い気づきを生み出しましたか？）

期待対象および対象者数：アンバサダー150名程度
目標：ポジティブ割合70%

アウトプット：実施回数および視聴回数等

Update

■アウトプット

指標	計画・目標	実績	視聴回数	
公開本数	4本	2/4本		
視聴数	各2000回	第1回(11/10) 第2回(12/25)	8.4万回 289回	(1/30時点)
チャンネル登録数				

振り返り：

撮影完了済み。事業年度中に公開予定。
実業支援としての広告支援によりVol.1の視聴回数は大きく増加。
今後公開予定のジャーナリスト安藤優子さんの回の内容が非常に的を得た内容であったため、可能な限り視聴数を増やしていくべく発信事業者様のお力も得ながら拡散を図っていく予定。

The VOICE of PRIDE



The VOICE of PRIDE vol.1

小説家・羽田圭介 X 介護福祉士・藤巻佳祐

11月11日公開



The VOICE of PRIDE vol.2

ドッグアドバイザー・松本秀樹 X 介護福祉士・上地智枝

12月公開



Update

THE
VOICE
OF
PRIDE

Update



ジャーナリスト
安藤優子さん

介護福祉士
宗像有美さん

音楽家
川井郁子さん

介護福祉士
阿部匡秀さん

2月以降に公開予定



情報発信事業を行う事業者へ本事業での取り組みを積極的に共有し、
露出面を増やすことができた。

楽天グループ株式会社 様

ポータルサイト
「知る。わかる。介護のしごと」



株式会社マガジンハウス 様

ポータルサイト「こここ」



株式会社朝日新聞社 様

朝日中高生新聞 3月2日号
朝日小学生新聞 3月2日号

朝日小学生新聞

朝日中高生新聞

楽天グループ株式会社 様



【掲載箇所】

news: 各活動内容を掲載

現役介護職による魅力発信:

もっと知る コンテンツ:

特別企画:

各活動内容を掲載

The VOiCE of PRiDE 揭載

The VOiCE of KAiGO in LIVE 掲載

災害下の介護職 掲載

→アンバサダーによる情報発信活動

→アンバサダートークシリーズ



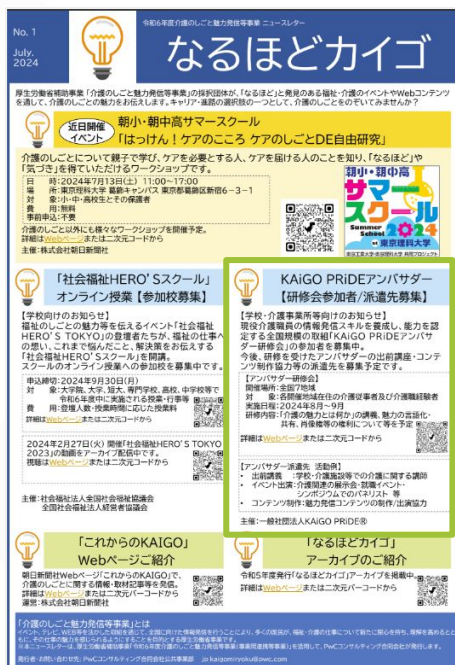
株式会社朝日新聞社 様



【掲載箇所】

- 朝日中高生新聞 3月2日号
 - 朝日小学生新聞 3月2日号
- 出張授業掲載

PwCコンサルティング合同会社様が発行するニュースレター「なるほどカイゴ」と連携させて頂き、
本事業の取り組み告知などの情報発信において事業間連携を実施し **計8回掲載連携**を行った。



03 事業間連携 情報発信／なるほどカイゴでの掲載2

No. 5
November,
2024
Page 2

今和6年度介護のしごと魅力発信等事業 ニュースレター

なるほどカイゴ

厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発信等事業」の採択団体が、「なるほど」と発想のある福祉・介護のイベントやWebコンテンツを通して、介護のしごとの魅力をお伝えします。キャリア・進路の選択肢の一つとして、介護のしごとをのぞいてみませんか？

介護の仕事魅力発信ポータル 知る.わかる.介護のしごと. オープン！

ポータルサイト「知る.わかる.介護のしごと」に、介護職を目指す方々へのインタビューや、「介護のしごと魅力発信」の紹介、また下記動画やコラムなどを掲載しています。

「VOICE介護現場のみんなの声」では、多様な現役介護職員の声に聴けることができます

知る.わかる. 介護のしごと

介護職員の生の声を届ける動画

介護現場でいきいきと働く人々のトークバラエティ動画を公開します。

クライアントのみやぞんさんを中心に、現場の魅力や体験談、介護業界のこれからについて語ります。

「左ききのエレン」コラボ動画

2019年にテレビドラマ化された「左ききのエレン」と介護のしごとのコラボ動画を公開しています。

介護現場取材し、介護のしごとをテーマにした短編漫画を描き下しました。

上記いずれも主催：東天グループ株式会社

生徒に伝えたい介護のしごと リアルを知りキャリア教育に活かす

【教職員・教育委員会・教育関係者向けのお知らせ】
「介護とキャリア教育」をテーマに、「寺子屋朝日 for Teachers」にてセミナーを実施します。

千葉県科大教授の和田義人さんの講演と、介護や福祉の現場で働く複数の実践者と和田さんを交えたクロストークを行います。介護のしごとへの理解を深め、生徒へのキャリア教育の選択肢に採り入れてみませんか。

日時：2024年11月20日(水) 19:30～20:50(予定)
参加方法：Zoom

主催：株式会社朝日新聞社

現役介護職の「アンバサダー」フリートークをライブ配信

介護業界で活躍するアンバサダーが集い、介護の様々なテーマについて話し合う「アンバサダートークシリーズ」のライブ配信を行います。

※「アンバサダー」
効果的な情報発信のヒントや介護の魅力を言語化について学んだ現役介護職の方です。

The VOICE of KAIGO in LIVE vol.4
日時：2024年11月10日(日) 21:00～

主催：一般社団法人KAIGO PRIDE

「taylorini」に介護の魅力発信記事掲載中

老人ホーム検索サイト「LIFULF介護」がお届けするウェブメディア「taylorini」にて、介護の仕事の魅力と伝える記事を公開しています。

突然とした介護や未来への不安を明るく照らす情報を発信しています。

taylorini
LIFEFULF CARE

主催：東天グループ株式会社

No. 6
November,
2024
Page 2

今和6年度介護のしごと魅力発信等事業 ニュースレター

なるほどカイゴ

現役介護職の「アンバサダー」× 異業種のプロフェッショナルトークシリーズ配信

介護業界で活躍するアンバサダーが集い、介護に関する様々なテーマについて自由に話し合う動画コンテンツ「アンバサダートークシリーズ」そして、現役介護職と様々な業界のプロフェッショナルが集い、互いの仕事を尊重し合いながら語るプロフェッショナルトークシリーズ、それぞれのコンテンツを配信します。

※「アンバサダー」とは 効果的な情報発信のヒントや介護の魅力を言語化について学んだ現役介護職の方です。

小笠原さんや介護士という異なる職業のプロフェッショナルに迫る。

The VOICE of KAIGO vol.1
小説家・羽田圭介×介護福祉士・藤巻佳祐

The VOICE of KAIGO vol.1
福岡3×三木×岡山の現役介護職による本音トーク

介護のしごとのマンガ・書籍・映画 無料公開中！

介護をテーマとするマンガや書籍、映画が楽天kobo、楽天TVにて期間限定で無料公開中です。

介護のしごとに関するものから実録・体験記、介護の知識やノウハウを学べるものまで、様々なカテゴリの作品を掲載しています。

楽天koboでは18作品の電子書籍が、楽天TVでは7作品の動画コンテンツが掲載されています。介護や介護のしごとに触れてみませんか？

※本キャンペーンは2024年11月30日(土)まで。

主催：東天グループ株式会社

都道府県発！ 介護のしごとの魅力発信の取組

徳島県 【県外の学生対象】 福祉職場インターンシップ参加者募集！

徳島県外の大学生・短大生・専門学校生を対象に、福祉業界への関心を高め、福祉の現場で働くことのイメージづくりを目的として、夏期・冬期ともに「福祉職場インターンシップ」を実施しています。徳島県での就職を考えている方、福祉の仕事に興味のある方、福祉について知りたい方、進路の参考にしたい方など、ぜひご参加ください。

実施期間：2024年12月16日(月)～2025年1月14日(火)(うち5日間)
募集対象：徳島県外で大学・短大・専門学校・専門学校生
参加費：無料。インターンシップ参加費に要する旅費・食費等は自己負担。
※ 上記2万円、公共交通機関を利用する場合に限りです。

主催：社会福祉法人徳島福祉社会福祉協議会 福祉人材センター

No. 7
December,
2024

今和6年度介護のしごと魅力発信等事業 ニュースレター

なるほどカイゴ

厚生労働省補助事業「介護のしごと魅力発信等事業」の採択団体が、「なるほど」と発想のある福祉・介護のイベントやWebコンテンツを通して、介護のしごとの魅力をお伝えします。キャリア・進路の選択肢の一つとして、介護のしごとをのぞいてみませんか？

<ここ> “自分らしく生きる”を支えるしごと 連載記事公開中！

福祉をたずねるクリエイティブマガジン「ここ」にて、連載記事が公開されています。

介護施設の実践やそこで働く人、ケアや老いをテーマにしたカルチャーコンテンツなど、「介護の世界」を訪ねます。「自分らしく生きる」を支える人、仕事、ふるまい、まなざし、葛藤に、出会ってみませんか。

「これは「ケア」かもしれない、と感じたマンガを教えてください。」
4名の方に寄稿をお願いしました。

主催：株式会社マガジンハウス

現役介護職の「アンバサダー」によるトークシリーズを配信！

介護業界で活躍するアンバサダーが集い、介護の様々なテーマについて話し合う「アンバサダートークシリーズ」のライブ配信や動画を公開します。

※「アンバサダー」とは 効果的な情報発信のヒントや介護の魅力を言語化について学んだ現役介護職の方です。

The VOICE of KAIGO in LIVE
12月19日(木) 21:00～

①第5回アンバサダートーク ライブ配信「The VOICE of KAIGO in LIVE」
開催方法：YouTube Live

アンバサダートーク リッチコンテンツ「The VOICE of KAIGO vol.2」※vol.1も公開中！

主催：一般社団法人KAIGO PRIDE

04

事業効果の分析等

04 取り組み①: アンバサダー育成

アウトカム5 (独自のアウトカム)

介護の仕事に対して介護職自身の自己評価が高まる(セルフリスペクト)

活動

介護職が自らの声で発信できるよう研修等の形でスキルアップを促し、それによる成功体験や本事業における業界内外の人たちとの交流により、介護職自身がその仕事への誇りをアップさせる仕組みを創出する。

アウトカムに対する

指標

回答者主観による5段階評価アンケートのうち4~5段階目(ポジティブ方向)の回答割合を比較

- 1) 情報発信ノウハウの理解向上 Q:介護の魅力を発信する方法は把握されていますか?
- 2) 情報発信意欲の向上 Q:ご自身で介護の魅力を発信していきたいと感じていますか?
- 3) 仕事への誇りの向上 Q:ご自身の職業に「誇り」や「プライド」を感じますか?

測定方法

参加したアンバサダーへのアンケート実施

目標

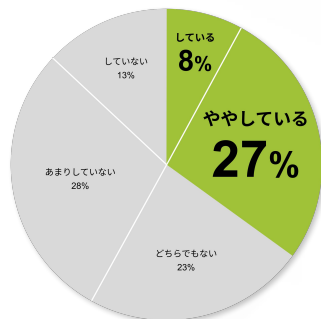
- 1) 10ポイント上昇
- 2) 5ポイント上昇
- 3) 5ポイント上昇

04 取り組み①／アンケート結果概要

1) 情報発信ノウハウの理解向上

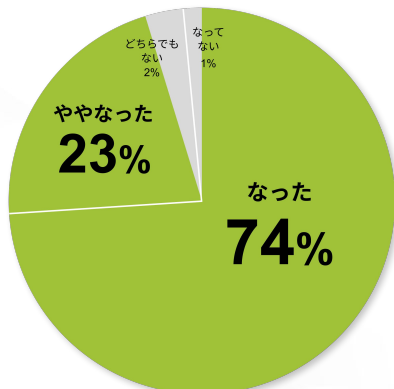
介護の魅力を発信する方法は把握されていますか？

【活動前】



【活動後】

研修会を通して介護の魅力を発信する方法が明確になりましたか？



活動後は「なった・ややなった」が

96.2%に！

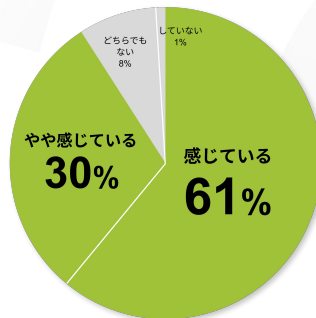
結果

活動前35.4%※に対して参加者は本活動を通して60.8ポイント上昇

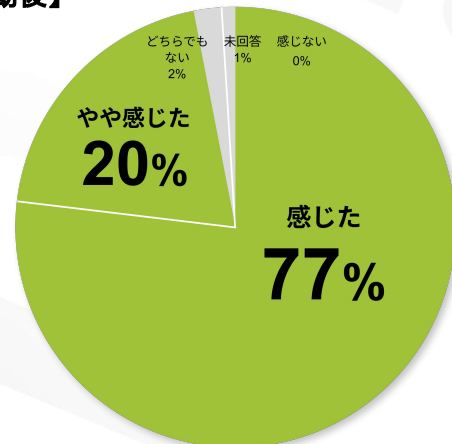
2) 情報発信意欲の向上

ご自身で介護の魅力を発信していきたいと感じていますか？

【活動前】



【活動後】



活動後は「感じた・やや感じた」が

96.8%に！

結果

活動前91.3%※に対して参加者は本活動を通して5.5ポイント上昇

04 取り組み①／アンケート結果概要

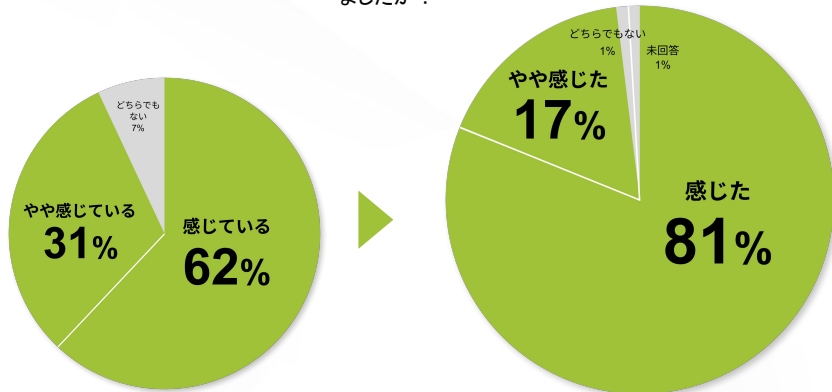
3) 仕事への誇りの向上

ご自身の職業に「誇り」や「プライド」を感じますか？

【活動前】

【活動後】

研修会を通じてご自身の職業に「誇り」や「プライド」を感じましたか？



活動後は「感じた・やや感じた」が

98.1%に!

※:「感じた」、「やや感じた」の合計数

結果

活動前93.2%※に対して参加者は本活動を通して4.9ポイント上昇

1) 情報発信ノウハウの理解向上

介護の魅力を発信する方法は把握されていますか？

活動後は介護の魅力を発信する方法が明確に「なった・ややなった」が

60.8%UP!

2) 情報発信意欲の向上

ご自身で介護の魅力を発信していきたいと感じていますか？

活動後は「感じた・やや感じた」が

5.5%UP!

3) 仕事への誇りの向上

ご自身の職業に「誇り」や「プライド」を感じますか？

活動後は自信の職業に「誇り」や「プライド」を「感じた・やや感じた」が

4.9%UP!



01 取り組み②: アンバサダーによる連携発信事業

アウトカム5
(独自のアウトカム)

介護の仕事に対して介護職自身の自己評価が高まる(セルフリスペクト)

実施内容

指標

1)派遣回数(≒派遣人数)

目標

1)21回
※7地域での育成に対して、各地域3回を想定。

実績

派遣実績 28回(人数:延べ68人)

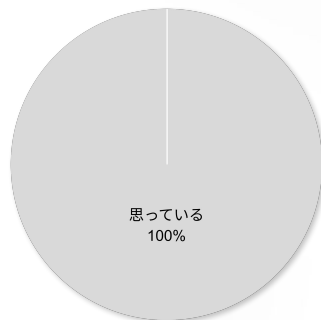
派遣目標数達成

自主企画は
全国で計13回開催された

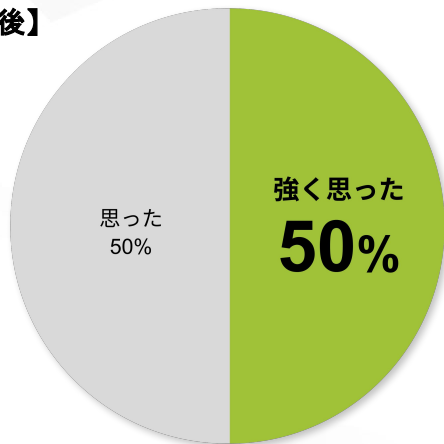
04 取り組み②／アンケート結果概要

介護の魅力を発信したいか

【活動前】



【活動後】



活動後は「強く思った」が

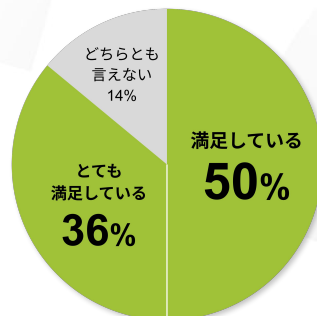
50%UP!

結果

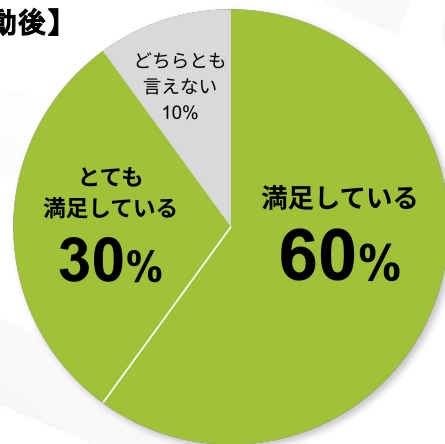
参加者は発信活動を通して、「強く思った」とより発信の意欲があがった結果となった。

現在の介護の仕事の満足度

【活動前】



【活動後】



活動後は満足度割合※が

90%に!!

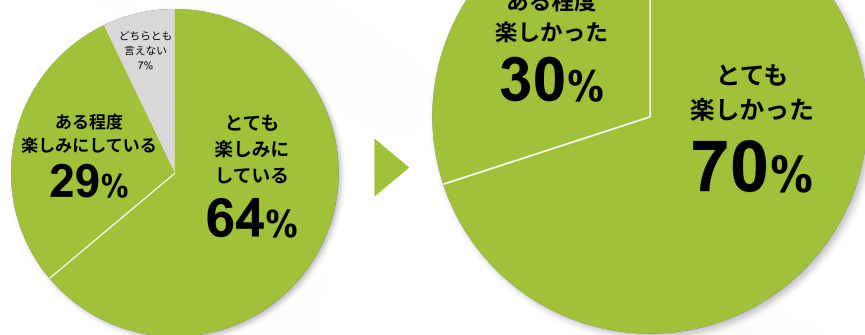
結果

活動参加後は介護の仕事に「満足している」人の割合が増加する結果となった。

他職種との介護職との交流

【活動前】

【活動後】



活動後は交流を楽しめた人※が **100%!**

※: 楽しめた人は「とても楽しかった」、「ある程度楽しかった」の合計数

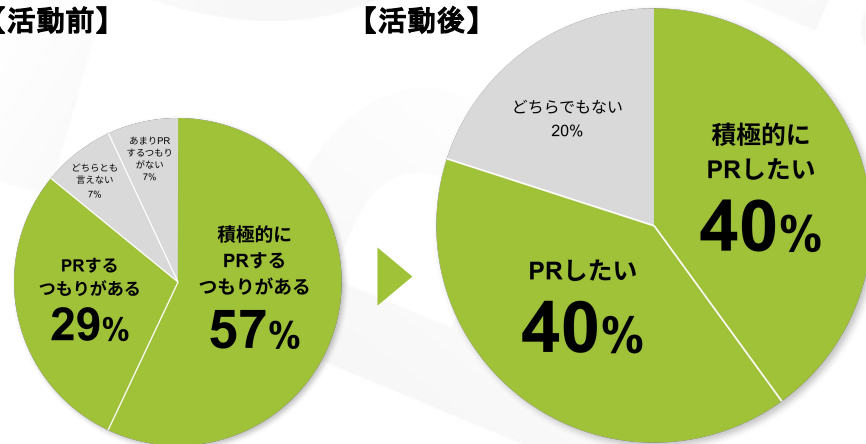
結果

活動参加前から交流への期待値は高かったが、活動後の交流を通して、「とても楽しんだ」と感じた人がさらに増加した。

本活動のPR意向

【活動前】

【活動後】



全体的なPR意向は **継続** する結果に!

結果

活動前からPR意向が高かったが、あまりPRする気がないと答えた人が7%いた。活動後は消極的な意見は0%に。一方で「積極的にPRする」人は減ったがPR意向は維持した。

04 取り組み②: アンケート結果

- 元々期待値の高かった項目に対しても、ネガティブな意見数値は減少もしくは 0%となり、全体として参加者の発信意欲は活動前と比べて向上した
- 上記に伴い、仕事の満足度向上へも貢献する結果となった

上記の内容から、取り組み②を通して当初目標にしていた
アウトカム5を達成することができた。

アウトカム5

介護の仕事に対して介護職自身の自己評価が高まる(セルフリスペクト)

04 取り組み②／アンケート結果(補足資料)

【活動前アンケートサマリー(回答者 14名)】

■介護の魅力発信について

- ・日常的に介護の魅力を発信している人が多い。
- ・発信方法は SNS、講演、研修運営、YouTubeなど多岐にわたる。
- ・伝えたい介護の魅力として、「笑顔があふれる仕事」「人の幸せを考える仕事」「やりがいがある仕事」「まだまだ伸びしろがある」などが挙げられている。

■Kaigo PRIDEへの協力理由

- ・「もともと介護の魅力伝えたいと思っていた」
- ・「発信力のある活動に惹かれた」
- ・「介護×クリエイティブという視点に共感した」

■介護職の満足度

- ・「大変満足」5名／「満足」7名／普通2名
- ・「大変満足」または「満足」が大半を占める。
- ・「普通」と答えた人もおり、満足度には個人差がある。

■他地域・他職種との交流

頻繁に交流がある人が多く、交流を楽しみにしている傾向が強い。

■本活動の宣伝

- ・多くの回答者が他の介護職に宣伝済み。
- ・口頭、SNS、チラシ配布、公式活動を通じて発信。

■今後のPR意向

ほぼ全員が「積極的にPRするつもりがある」と回答。

■参加意気込み

- ・「楽しみながら発信したい」「積極的に取り組みたい」
- ・「Kaigo PRIDEと共に進めたい」といった前向きな意見が多い。

【活動後アンケートサマリー(回答者 10名)】

■参加したコンテンツ

- 「出前講座やイベント派遣」に参加した人が多い。
- 「介護みらい会議」に参加した人も一定数いる。

■介護の魅力発信に対する意識

- ・参加後「強く思った」または「思った」の回答が増え、意識の向上が見られた。
- ・共感の言葉や、聴講者の反応が良かったことが影響している。

■介護職の満足度

- ・満足している「とても満足している」という回答が多く、満足度は高め。
- ・一方で「どちらとも言えない」という回答もあり、改善の余地もある。

■Kaigo PRIDEの活動に対する評価

- ・「強く思った」と多くの人が回答し、この活動に価値を感じている。
- ・SNSや行政を巻き込んだ発信方法に対する評価が高い。

■仕事に誇りを感じたか

- ・「大変感じた」「感じた」がほぼすべてを占める。
- ・学生や子供たちとの交流から、改めて仕事の価値を実感したという声が多い。

■他地域・他職種との交流

- ・「とても楽しかった」「ある程度楽しかった」という回答が多数。
- ・新しい価値観を知ることで仕事へのモチベーションが上がったという意見多数

■今後のPR意向

- ・「積極的に宣伝したい」と考えている人が多い。
- ・SNSや施設のアカウントを活用してPRする意向も強い。

■今後の活動への参加意欲

- ・「もちろんです」「ぜひ関わりたい」という前向きな回答が多い。



04 取り組み③: アンバサダートークシリーズ

アウトカム3

介護の仕事について理解する人が増える

活動

まずは現役介護職が自らの仕事の魅力を改めて理解する機会を創出する。そして、その介護職による発信を受けて関心層が納得感を持って理解の深化をはかろうとするコンテンツを創出する。

指標

参加したアンバサダーに対してアンケートを実施。

新たに介護の仕事に関する情報に触れる機会になり得たかを評価する。

- 1) 介護の魅力発信の価値 Q: 今回の「Kaigo PRIDE」の魅力発信の方法は価値があると思いませんか？
- 2) 多職種・多地域との交流 Q: 他地域、他職種の介護職の方と話すことは楽しかったですか？

測定方法

参加したアンバサダーへのアンケート実施

目標

70%

アウトカム3

介護の仕事について理解する人が増える

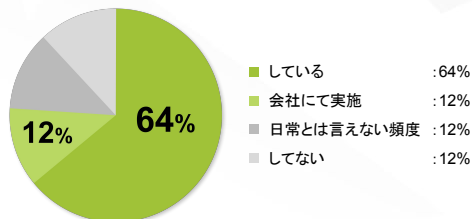
実施内容

指標	目標	実績	
◆ライブ配信 1) ライブ配信の実施回数 2) ライブ配信視聴者数 ◆ライブアーカイブ動画 3) ライブアーカイブ動画の公開本数 4) 視聴回数 ◆リッチコンテンツ 5) リッチコンテンツの公開本数 6) 視聴回数	◆ライブ配信 1) 6回 2) 各30名 ◆ライブアーカイブ動画 3) 6本 4) 各300回 ◆リッチコンテンツ 5) 4本 6) 各300回	◆ライブ配信(計6回実施) 1) vol.1: 8/6 17:00 vol.2: 8/6 22:00 vol.3: 10/18 21:00 vol.4: 11/10 21:00 vol.5: 12/19 21:00 vol.6: 1/18 19:00 vol.7: 2/22 20:00 2) vol.1: 38人 (Zoom) vol.2: 25人 (Zoom) vol.3: 166人 (YouTube Live) vol.4: 118人 (YouTube Live) vol.5: 36人 (YouTube Live) vol.6: 210人 (YouTube Live) vol.7: 15人 (YouTube Live)	◆ライブアーカイブ動画(7/7本+1本) 3) vol.1: 9/30 vol.2: 10/26 vol.3: 11/28 vol.4: 12/18 vol.5: 1/31 vol.6: 2/28 vol.7: 3/24 特別企画「災害の介護職」1/23 4) vol.1: 389回 vol.2: 300回 vol.3: 180回 vol.4: 358回 vol.5: 94回 vol.6: 115回 vol.7: 39回 特別企画「災害の介護職」400回 ◆ライブアーカイブ動画(7/7本+1本) 5) vol.1: 11/11 vol.2: 12/25 vol.3: 2/7 vol.4: 2/28 6) vol.1: 428回 vol.2: 336回 vol.3: 131回 vol.4: 243回

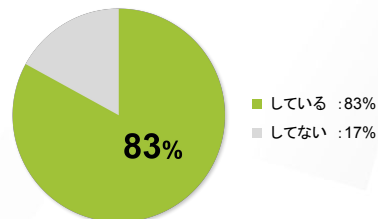
01 取り組み③／アンケート結果概要(発信意向の変化)

【活動前】

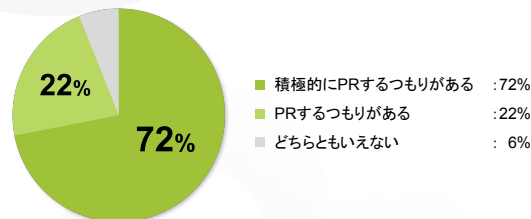
日常から介護の魅力を発信していますか？



この活動を他の介護職の方に宣伝しましたか？

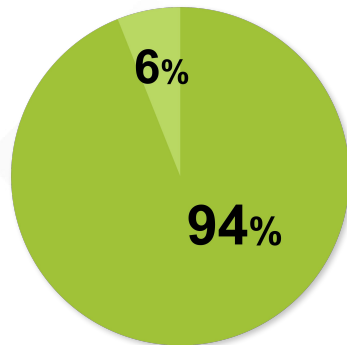


ご自身または施設の SNSアカウントで
本活動をPRする意向はありますか？



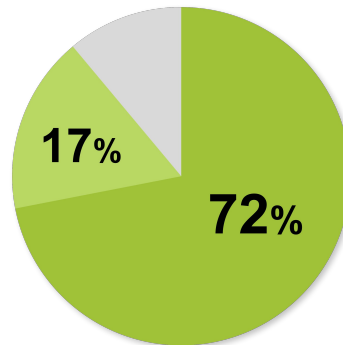
【活動後】

参加後に発信意欲が向上した！



この活動を他の介護職の方に
宣伝したいと思いますか？

積極的に宣伝したい : 94%
宣伝したい : 6%



ご自身または施設のアカウントで
本活動をPRする意向はありますか？

積極的にPRしたい : 72%
PRしたい : 17%
どちらともいえない : 11%

今回の「KAiGO PRiDE」の魅力発信の方法は価値があると思いませんか？

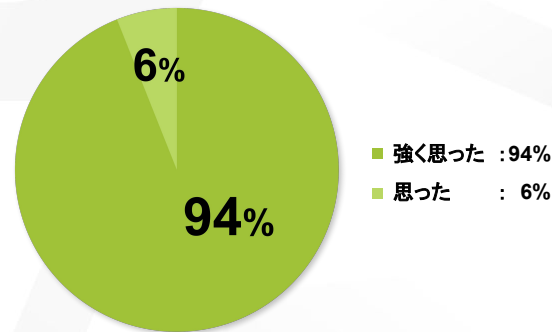
結果

参加前から全員が発信したい気持ちを持って参加した中で

94%が強く思ったと回答

※以下は、アンケート自由記述欄にご回答いただいた内容の一部を抜粋し、原文のまま掲載しております。

- 介護をオシャレに捉えるのは今までの考え方にはあまり無かったと思う
- これまで表に出ることのなかった物語が世の中に知ってもらえることができるため
- なかなか自分1人で発信することがないので、このような場があることで仲間と一緒に自信を持ってお話しすることができた。
- 自身が活動する事で、介護福祉士、**介護の仕事の魅力を気付ける事が改めて実感** できたから。
- コンセプトが素晴らしい上、私たち介護福祉士が想像できない、プロフェッショナルによるスタジオ撮影、編集、展開に圧倒されました。
- 介護の魅力発信の為にもっと広がってほしいし、お手伝いも出来たらと思いました。介護の魅力を伝えると同時にセルフモチベーションに繋がり、それは仲間と共有共感することで自分たちのやっていることに誇りを感じるようになる。
- 介護の魅力を伝えることで介護職が救われる。そんな風に感じる取組(方法)だと思います。
- 全国から集まって直接語り合う、とても貴重な体験をさせていただきました。
- ズームでの発信も、YouTubeのライブ発信も、全国のどこからでもリアルタイムに見れて良かったです。
- それぞれの持つ介護の魅力を共有出来る事で、自分たちがやって来た事、考えや思いは間違っていなかった、大切な仲間が他にもたくさんいる...



今回参加して現在の仕事に誇りを感じましたか？

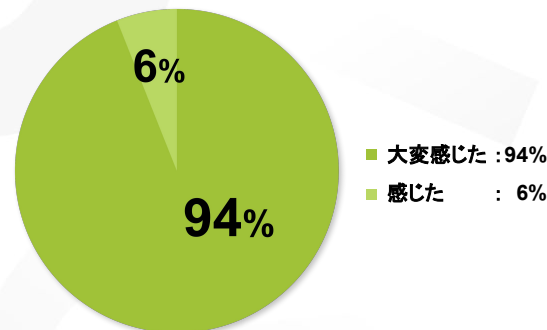
結果

参加前から全員が発信したい気持ちを持って参加した中で

全員が大変感じた・感じた と回答

※以下は、アンケート自由記述欄にご回答いただいた内容の一部を抜粋し、原文のまま掲載しております。

- ・ 「ケア」という言葉の中に様々な職種、ひと、様々な思いや気持ちが詰まった尊い職業だと感じる事ができました。
- ・ 自分が今まで10年間やってきた介護に対する気持ちや姿勢は間違っていなかったこと、他の方の話を聴くなかで、もっと頑張らないといけないと感じた
- ・ 自分以外のアンバサダーの方とお話をして、自分たちがしている仕事はとても尊く感じる事ができたから。
- ・ 大変で困難な状況ではあるけれど、同じ思いを持った方や KAIGO PRIDEさんの様に、介護の仕事の未来を見て、取り組んでいる方々、魅力のある人がすでにいるという事を誇りに思います。
- ・ 胸を張ってこの仕事をこの仕事をしている人たちを肯定できます。
- ・ 撮影での会話を通して自分たちの誇りが何かが明確になり実感できた。
- ・ 自分自身の経験や日頃の介護を改めて振り返ると沢山の思い出やご利用者様に支えられてきたことを実感し、改めてこの仕事が好きになったため今までやってきたことに間違いはなかったことと、これからもより一層頑張っていきたいと感じた。
- ・ 介護の魅力を語ると、時間がいくらあっても足りないってことが自分達のグループでも感じましたし、他の皆さんも同じようにおっしゃっていました。
- ・ 1人の介護職からいくつもの素敵なエピソードが出てくる。こんなに魅力がいっぱいあるって、介護の仕事ならではのなんだろうと思うと、誇らしいです。
- ・ 自分自身が介護の仕事について、たくさん伝えたいことがあるんだと実感出来た



04 取り組み③:アンケート結果

介護の魅力発信の価値:

Q 今回の「KAIGO PRIDE」の魅力発信の方法は価値があると思いませんか？

94% が「強く思った」と回答

- 現役介護者である参加者は、この活動を通して発信意欲が向上し介護職同士の交流を持つことで新たな情報に触れ、**一層理解を深める** ことができた
- 活動後には自分自身の仕事に対して誇りを強く持つことができ、**介護職に対して理解する人が増える** 結果となった

多職種・多地域との交流:

Q 他地域、他職種の介護職の方と話すことは楽しかったですか？

100% が「楽しかった」と回答

上記の内容から、この活動を通して目標に掲げた2つのアウトカムが達成することができた。

アウトカム3

介護職に対して理解する人が増える

アウトカム5

介護の仕事に対して介護職自身の自己評価が高まる(セルフリスペクト)



04 取り組み④: プロフェッショナルトークシリーズ

+α

アウトカム1

介護の仕事に関する情報に触れたことのある人が増える

アウトカム2

介護の仕事内容に興味・関心を持つ人が増える

アウトカム4

介護の仕事に関する社会的評価が高まる(イメージアップ)

活動

見た人が尊敬を抱くような介護職のプロフェッショナルリズムを見える化するコンテンツを創出する。

アウトカムに対する

指標

参加したアンバサダーに対してアンケートを実施。新たに介護の仕事に関する情報に触れる機会になり得たかを評価する。

アウトカム2の評価質問 : 介護の魅力発信の価値: Q 日常から介護の魅力を発信する意欲が増えましたか?

アウトカム4の評価質問 : 仕事への誇りの向上: Qご自身の職業に「誇り」や「プライド」を感じますか?

測定
方法

参加したアンバサダーに対してアンケートを実施。

新たに介護の仕事に関する情報に触れる機会になり得たかを評価する。

目標

ポジティブ割合を70%に設定

04 取り組み④: プロフェッショナルトークシリーズ

+α

アウトカム1

介護の仕事に関する情報に触れたことのある人が増える

アウトカム2

介護の仕事内容に興味・関心を持つ人が増える

アウトカム4

介護の仕事に関する社会的評価が高まる(イメージアップ)

実施内容

指標	目標	実績
1)コンテンツ公開本数 2) 視聴数 3) チャンネル登録数	1)4本 2) 各2000回	1) 4本 vol.1 11/11 vol.2 12/25 vol.3 2/10 vol.4 2/28 2) vol.1 8.5万回 vol.2 299回 vol.3 2.1万回 vol.4 245回 3) 1,424人

日常から介護の魅力を発信する意欲が増しましたか？

結果

100% が 強く思った と回答

強く思った
100%

ご自身の職業に「誇り」や「プライド」を感じますか？

結果

100% が 大変感じた と回答

大変感じた
100%

04 取り組み④／アンケート結果概要

Q どのように楽しかったのか、どんな気持ちの変化があったなど具体的に教えてください。

全員が「楽しかった」と回答

- 価値観が増える。自身の仕事に対して見え方が変わる。
- 違う土地で暮らし、違う仕事する方とお話する機会は普段なかなか無く、何から聴いて良いのか戸惑いしましたが、お相手の方が介護についてとことん掘り下げてくださり、こんなに「介護」の話をしたことあったかな？と思うほど、気分よく過ごさせて頂きました。

※上記は、アンケート自由記述欄にご回答いただいた内容の一部を抜粋し、原文のまま掲載しております。

Q またKAiGO PRiDEの活動に携わりたいですか？

全員が「機会があれば参加したい」と回答

- 対談以外でも、撮影する人たちのプロの仕事をみて、1人では何もできないこと、様々な人が協力して作り上げ行く過程が準備や撮影を通して感じました。

※上記は、アンケート自由記述欄にご回答いただいた内容の一部を抜粋し、原文のまま掲載しております。

楽天グループ様ご協力の下、YouTube広告を配信

インプレッション数 : **7,589,294**

視聴回数 : **85,047**

視聴率 : **1.12%**

04 取り組み: アンケート結果

- 企画参加者全員が情報発信にポジティブになり、
介護職に対する意欲向上と自身の仕事に対する誇りを再認識した
- YouTube動画の再生数はトータル11万1019回を達成した

上記の内容から、この活動を通して目標に掲げた
3つのアウトカムが達成することができた。

アウトカム1

介護の仕事に関する情報に触れた事がある人が増える

アウトカム2

介護の仕事に興味・関心を持つ人が増える

アウトカム4

介護の仕事に関する社会的評価が高まる



04 まとめ(総評)

介護職自身が主体となって介護の魅力や誇りを社会に伝えることを目的に、本事業は以下の 4つの取り組みを柱に展開した。

【取り組み①:アンバサダーの育成】

当初目標100名に対し、188名のアンバサダーを育成。日本全国 7カ所でのリアル開催に加え、参加機会の確保を目的にオンライン研修を 2回実施した。これは、スケジュール等の都合により参加できなかった応募者からの声、ならびに当法人の企画委員からの提案を受けて実現したものである。

【取り組み②:アンバサダーによる連携発信活動】

育成されたアンバサダーは、学校・地域イベント・自治体との協働のもと、全国で 28件、延べ68名が魅力発信に携わった。さらに、アンバサダー同士が連携し、自主的に地域イベントを開催するなど、活動の広がりが見られた。

【取り組み③:アンバサダートークシリーズ】

アンバサダー同士が語り合う映像を、ライブ配信、アーカイブ配信、事前収録による動画配信などを通じて公開。中でも、災害下での経験を語る座談会のライブ配信は特に大きな反響を呼んだ。ライブ配信 7回、アーカイブ配信 7回、災害座談会アーカイブ配信 1回、スタジオ収録のリッチコンテンツ配信 4回を実施。

【取り組み④:プロフェッショナルトークシリーズ】

異業種の専門職と介護職が対話する映像コンテンツを制作。楽天グループ株式会社様の協力により YouTube広告も展開され、再生回数的大幅な向上につながった。

【成果の活用とこれから】

これらの取り組みを通じて得られた成果を基盤に、今後も魅力発信と人材育成の継続を図っていく。

04 まとめ(アウトカム・活動内容・成果一覧表)

No.	事業の題目	事業名	事業概要	アウトカム	活動	アウトカム	活動
★事業の題目	★事業名	★事業概要	★指標	★計画・目標	★実施状況、経過	★計画・目標	★実施状況、経過
1	介護職員処遇改善事業	アンパラーの育成	「アンパラーの育成」は、現役介護職員が5の公費を減らし、介護職員のスキルを養成し、その能力を認定するための全国規模の取り組みである。全国7地域/計7カ所で行われるワークショップである。 よ、介護業界の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。1日の集中研修を通じて、参加者は職業的な介護職員のマインドセットを学び、自らに向き合う時間を過ごし、本人が気づいていない介護の魅力を意識化し持続を共有することで、介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 実施地域数 2) 養成人数 3) 養成人数	1) 全国7地域 2) 100名 3) 153名	1) 介護の仕事に対して、介護職自身の自己評価が上がる（セルフイメージ） 2) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 3) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 研修生数は5段階評価アンケートのうち4～5段階評価（ポジティブ）の回答割合を比較 2) 5ポイント以上 3) 5ポイント以上 4) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 5) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。
2	介護職員処遇改善事業	アンパラーの育成	「アンパラーの育成」は、現役介護職員が5の公費を減らし、介護職員のスキルを養成し、その能力を認定するための全国規模の取り組みである。全国7地域/計7カ所で行われるワークショップである。 よ、介護業界の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。2日の集中研修を通じて、参加者は職業的な介護職員のマインドセットを学び、自らに向き合う時間を過ごし、本人が気づいていない介護の魅力を意識化し持続を共有することで、介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 実施地域数 2) 養成人数 3) 養成人数	1) 全国7地域 2) 101名 3) 154名	1) 介護の仕事に対して、介護職自身の自己評価が上がる（セルフイメージ） 2) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 3) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 研修生数は5段階評価アンケートのうち4～5段階評価（ポジティブ）の回答割合を比較 2) 5ポイント以上 3) 5ポイント以上 4) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 5) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。
3	介護職員処遇改善事業	アンパラーの育成	「アンパラーの育成」は、現役介護職員が5の公費を減らし、介護職員のスキルを養成し、その能力を認定するための全国規模の取り組みである。全国7地域/計7カ所で行われるワークショップである。 よ、介護業界の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。3日の集中研修を通じて、参加者は職業的な介護職員のマインドセットを学び、自らに向き合う時間を過ごし、本人が気づいていない介護の魅力を意識化し持続を共有することで、介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 実施地域数 2) 養成人数 3) 養成人数	1) 全国7地域 2) 102名 3) 155名	1) 介護の仕事に対して、介護職自身の自己評価が上がる（セルフイメージ） 2) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 3) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 研修生数は5段階評価アンケートのうち4～5段階評価（ポジティブ）の回答割合を比較 2) 5ポイント以上 3) 5ポイント以上 4) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 5) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。
4	介護職員処遇改善事業	アンパラーの育成	「アンパラーの育成」は、現役介護職員が5の公費を減らし、介護職員のスキルを養成し、その能力を認定するための全国規模の取り組みである。全国7地域/計7カ所で行われるワークショップである。 よ、介護業界の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。4日の集中研修を通じて、参加者は職業的な介護職員のマインドセットを学び、自らに向き合う時間を過ごし、本人が気づいていない介護の魅力を意識化し持続を共有することで、介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 実施地域数 2) 養成人数 3) 養成人数	1) 全国7地域 2) 103名 3) 156名	1) 介護の仕事に対して、介護職自身の自己評価が上がる（セルフイメージ） 2) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 3) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 研修生数は5段階評価アンケートのうち4～5段階評価（ポジティブ）の回答割合を比較 2) 5ポイント以上 3) 5ポイント以上 4) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 5) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。
5	介護職員処遇改善事業	アンパラーの育成	「アンパラーの育成」は、現役介護職員が5の公費を減らし、介護職員のスキルを養成し、その能力を認定するための全国規模の取り組みである。全国7地域/計7カ所で行われるワークショップである。 よ、介護業界の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。5日の集中研修を通じて、参加者は職業的な介護職員のマインドセットを学び、自らに向き合う時間を過ごし、本人が気づいていない介護の魅力を意識化し持続を共有することで、介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 実施地域数 2) 養成人数 3) 養成人数	1) 全国7地域 2) 104名 3) 157名	1) 介護の仕事に対して、介護職自身の自己評価が上がる（セルフイメージ） 2) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 3) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。	1) 研修生数は5段階評価アンケートのうち4～5段階評価（ポジティブ）の回答割合を比較 2) 5ポイント以上 3) 5ポイント以上 4) 介護職の魅力を社会に広く伝えるためのアンパラーを育成する。 5) 介護職の誇りとプロフェッショナルな社会に役立てて発展する力を身につける。



KAIGO PRIDE®